

The University Times

November 2014 Vol. 36

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2014

CONTENTS

<ul style="list-style-type: none"> Global Leader's Voice 河合江理子さん (京都大学大学院 総合生存学館(思修館)教授) 1 2 Studying Abroad in the U.S.A 私の米国留学 3 University's Challenge 明治大学 4 5 	<ul style="list-style-type: none"> Journalist's Eye 免税枠拡大で新サービス登場! ハラル・フードのエキスポ開催 6 News in English 英文記事を読んでみよう 7 Visit a Global Company 東レ株式会社 8 9 	<ul style="list-style-type: none"> Key to Success 留学トラブル解決策/ Book Review 10 Scholarship List 奨学金情報 11 IELTS World IELTS Hot News 12 	<ul style="list-style-type: none"> IELTS World IELTSテストのコツ 13 IELTS World IELTS 対策コースナビ/攻略本 14 Study Abroad Benefits 留学で培う3つの力 15
---	--	--	--

Global Leader's Voice

グローバルリーダーインタビュー

海外でのキャリアを生かし 次世代のリーダー育成へ

Vol.6 河合江理子さん 京都大学大学院
総合生存学館(思修館) 教授

海外の企業や国際機関でキャリアを重ねてきた河合江理子さん。現在は京都大学大学院で、将来のリーダー育成に携わる。大学と大学院の海外留学や海外での仕事の経験から若い世代にはぜひ海外に飛び出してほしいとエールを送る。早い時期での留学経験は人生の大きな糧になると話す。

留学のきっかけは 奨学生の募集告知

「高校生の頃から海外に対する憧れや、海外で活躍したいという気持ちがありました。また、日本よりも女性ももっと活躍できる土壌があるのではないかと感じていました」

中学・高校時代から漠然と国際的な仕事がしたいと考えていた河合江理子さん。高校で偶然目にとめた1枚の貼り紙が、留学のきっかけとなった。

「高校3年生の時、職員室の前でアメリカ留学の奨学生を募集する貼り紙を見つけました。これに応募してみようと思ったのが、海外に行くきっかけになりました。募集人数はすごく少なかったのですが、いいチャンスだと思って挑戦することに。大学の受験勉強をしながら語学学校にも通い始めました。もともと国際的な仕事に就こうと考えていたので英語は好きでしたし、英語を勉強するのは必要なことだと思っていたんです」

留学のための勉強を進めるうちに海外への憧れはますます強くなっていった。そして、

日本の高校を卒業後、河合さんは米ハーバード大学に進学を決める。

人間力を鍛える 課外活動の重要性

「英語は日本で6年間勉強して、語学学校にも通いましたが、大学の授業には全くついていけませんでした」

ハーバード大学に入学後、河合さんは英語力が追いつかず、授業の内容が理解できなかったという。とてつもない量の専門用語を覚えなければならぬのに加え、一語一語辞書を引きながら文章を読むためにリーディングのスピードが遅く、人の何倍も時間がかかったと振り返る。

「最初の半年は授業がほとんど分からない状態で、友達にノートを借りたり、教科書を読んで自習したりしながら、なんとかついていきました」

英語力の面だけでなく、日本とアメリカの授業スタイルの違いにも苦労した。

「高校時代は授業で発言するとしても決まった答えを言うだけで、議論、ディベート、プレゼンテーションの機会はありませんでした。それに比べてアメリカでは、小学校、中学校、高校とディベートのクラスもあるほど。そういった授業を経験した人たちのレベルの差はあまりに大きく、議論に参加できない状態が続きました」



夜中の12時まで開いている大学の図書館

や寮の図書館はいつも学生であふれていた。河合さんは、他の学生も同じように勉強している姿を見て、「自分だけが勉強しているのではない」と励まされたという。「勉強しようと思えばいくらでも勉強できる、学習に適した環境が整っていました」

大学では勉強する時間が大半を占めていたという河合さんだが、「勉強は大切ですが」と前置きしたうえでこう話す。

「課外活動は人間を成長させると思いますね。他の学生は勉強と同じくらい、コミュニティサービスなど勉強以外のことにも一生懸命取り組んでいました。こうした活動からリーダーシップや人間関係なども学べると思います。私がもう一度大学生になるとしたら、もっと課外活動に取り組みたいですね」

日本企業の現実に直面し キャリア意識が芽生える

「ハーバード大学を卒業して日本で働き始めたのですが、それまでは日本の普通の高校生と同じように、大学をいい成績で卒業すればいい企業に入れて、そのまま昇進していくというイメージを持っていました。でも日本に帰ってきてみると、女性にはそのようなチャンスはなく、全くキャリアパスができていない状況でした。それからは『自分で道を切り拓いていかなくてはならない』と思い、MBAを目指すことを決意しました。そのあたりから、自分のなかにキャリア意識が芽生えてきたのだと思います」

アメリカで学士を取得した河合さんが、MBAのために第二の留学先に選んだ国はフランスだった。

「歴史を大切にしているヨーロッパの文化や、仕事や勉強だけでなく自分の生活や家族も大切にしながら文化的な活動も謳歌できるヨーロッパ的な風土が、自分には合っていると感じました。人間として心地よい生活ができるのではないかと思ったのです。アメリカは厳しい競争社会なので、そこでずっと競争しながら働くことが自分に合っているかどうか、疑問に感じたのも事実です」

海外で働く自信がついた ビジネススクールの経験

河合さんが学んだフランスの経営大学院「INSEAD」にはさまざまな国から学生が集まり、英語が母国語でない学生や、多様なバックグラウンドを持つ学生とのグループワークの課題が多かった。お互いに共通の認識がないなかでのグループディスカッションが、河合さんをさらに成長させた。

「ディスカッションがまとまらなくて深夜12時くらいになってしまうこともありました。そんな時は、すごいフラストレーションがたまります。『なんでみんな自分の意見を譲らないのかな』って。でもこの時の経験が、『相手を説得するにはどうしたらいいか』という勉強になりましたし、海外で仕事をしていく自信にもつながりました」

INSEADでMBAを取得した後は、マッキンゼーのパリオフィスで働き始めた。この時も、ヨーロッパの文化が自分に合っていると感じたという。

「マッキンゼーの東京オフィスであれば、当時は7時から23時の勤務で、ほとんどの人がランチも自分のデスクで5分や10分で済ませてしまう。でもフランスでは『ランチはちゃんと取りましょう』という雰囲気があった。休みに関しても、働くときは働けどもメリハリをつける。日本では休みを取ることが悪いことのように思われていたのですが、フランスではトップも休みを取り、エネルギーをチャージして新しいアイデアや目



人生に最も影響を与えたのは 若い頃の留学だと思っています。

標のための活力を養うといった休日の使い方をします。自分にもそのような生活が合っていたと思いますね。休みをしっかりと取って人と違う視点を養う、新しいアイデアを考える、新しいことを勉強する、仕事以外の人と会って刺激を受ける、などといったことが、非常に大切だと思います」

後には引けない 自分への「投資」

アメリカの大学やフランスのビジネススクールで学んだ河合さん。当時の勉強に対するモチベーションについてこう語る。

「大学時代には奨学金をもらっていたから、いい成績を取らなければならないというプレッシャーがありました。ビジネススクールは、お金もすごく高いんです。自分の給料よりも高い学費を払わなければなりません。それだけ自分に投資すると、失敗はできない。誰かに言われてやるのではなくて、自分がやりたいことに『自分で投資しているんだ』という感覚はとても大切だと思いました。また、試験のような目標も重要ですね。毎日勉強していても、自分がどれだけ成長したのかは分かりませんよね。『このくらい勉強したからこれだけスコアが伸びた』といった実際のスコアなどが分かると、自分の成長が目に見えていいと思います」

直接的な社会貢献 教育という未知の分野へ

パリのマッキンゼーを退職した後、国際決済銀行(BIS)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関で、資産運用のプロとして仕

事をしてきた河合さん。リーマンショックの後に、金融の仕事よりも「もっと直接的に社会に貢献したい」という思いを強め、教育の分野に飛び込んだ。

「自分がどんな形で社会貢献できるかと考えたとき、教育を通じて社会に貢献したいと思ったんです。日本人で私のような経験をした人はまだ多くありません。私が学んできたことを、グローバルに活躍したいと思っている学生さんに伝えていくというのが、いちばん直接的な社会貢献だと思いました。教育というのはすぐには結果が出ませんが、確実に成果が現れてくるものだと思うんですね。理に合った教育、いい教育というのは日本の国民の何十年後の未来にとって、とてもインパクトのあることだと思います。日本人は内向きだと言われていますが、グローバルに活躍することは『大変だけどすごくおもしろいんだ』『人生が広がることなんだ』ということを示してあげたいと思っています」

グローバルに活躍するには 専門性と人間力が大切

現在、河合さんは、京都大学がグローバルリーダー養成を目的に2012年に設立した5年制大学院「思修館(京都大学大学院総合生存学館)」の教授に就任。自身の海外での経験を基に、世界で活躍できるリーダーの育成を目指している。世界で活躍する人材になるには、どのような要素が必要なのだろうか。

「グローバルに活躍するためには、相手を説得する能力や、プレゼンテーションで自分の思っていることを説明する能力がとても大切です。そういったコミュニケーションがで

きるようになるためにも、語学力が必要になります」

しかし、語学力だけではいけないと河合さんは釘をさす。

「言葉ができるだけでは足りません。それぞれに専門性がなければ真のリーダーとして活躍することはできないでしょう。現地の人が持っていない高い専門性があるからこそ役に立つことができるのです」

さらに必要な要素は「人間力」だ。自身の経験もふまえてこう話す。

「人間力というのは、ストレスに対処する力や、ネットワークの力。私の場合、高校時代は自分がある程度は優秀だと思っていましたが、アメリカでは『この人は落ちこぼれなんじゃないか』というような目で見られました。そのギャップに耐えていく力も必要でした。また、知らない土地に行き、新しい人とゼロから人間関係をつくっていく能力も大切です」

世界で活躍するためには、学生自身の「ロールモデル」を見つけることも重要だ。「グローバルリーダーシップ」という授業では、国際的に活躍しているリーダーを招いて講義をもらう。

「そのリーダーがどのような苦労や努力をして今の立場にいるのかを直接聞くことで、学生は具体的な将来像を持ち、ロールモデルも見つけることができます。グローバルリーダーがたどった道筋が分かれば、学生自身も目標を持つことができます。『人間は羅針盤がないまま航海はできない』といいます。目標がはっきりしていれば、それに向けた努力をすることもできるのです」

グローバルな世界でキャリアを重ね、現在は、将来のグローバルリーダーを育てる河合さんに、若い世代へアドバイスをいただいた。

「私の人生にいちばん影響を与えたことは、若いうちに留学したということだと思います。若ければ若いほど、留学の影響は大きい。吸収力が違うのです。私自身もたくさん苦労しましたが、『大きなチャレンジに成功した』という自信が人生の早い段階で得られることも留学の利点だと思います。住みたい国に住み、やりたいことをして、仕事もかつて思い描いていた『国際機関で働きたい』という夢が叶いました。それができたのは、やはり留学の経験があったからだだと思います。」

今の学生さんにも、まずは海外に行ってみてほしいと思います。違った考え方や異文化の方に会うと自分の成長を感じられます。大学時代は時間が豊富にありますし、ワーキングホリデーや交換留学などの機会にも恵まれています。そういったチャンスを積極的に追い求めて、ぜひ海外体験をしていただければと思います」

(英検協会グローバルリーダー研究グループ 安藤優也)

河合江理子 (かわい えりこ)

東京生まれ。筑波大学附属高校を卒業後、米国ハーバード大学へ(環境学特別専攻)。フランスの経営大学院「INSEAD(インシアード)」でMBA(経営学修士)を取得し、1985年にパリのマッキンゼーに入る。その後、国際決済銀行(BIS)、経済協力開発機構(OECD)などを経て、2012年4月に京都大学高等教育研究 開発推進機構教授に就任。2014年4月から現職。著書に「自分の小さな「鳥カゴ」から飛び立ちなさい 京大キャリア教室で教えるこれからの働き方」(ダイヤモンド社)。

私の米国留学

アメリカ留学も IELTS の時代へ

～ IELTS はアメリカの約 3,000 の大学・プログラムで認定されています～



熱意あふれる教授陣に恵まれ 学びのチャンスあふれる大学生活

きめ細かい指導が魅力 リベラルアーツカレッジ

将来は国連など国際機関で働くのが夢で、大学院は海外に進学しようと考えていました。でも、高3の時に米国に交換留学をして、世界各国の留学生たちと交流を深めるにつれ、米国の大学への進学を意識しはじめました。決定打となったのは日本の大学に進んだ友人たちの話。自分が求める環境は日本にはない、米国の大学にある、と感じたのです。

リベラルアーツカレッジを選んだのは、規模が小さく、きめ細かいサポートが期待できると考えたからです。実際に、コルビー大学は教授との距離が近く、熱意のある指導を受けることができます。昨年度に受けたライティングクラスの教授には、エッセイの構成の仕方から細かい文法に至るまで、非常に丁寧に添削していただき、とても多くのことを学ぶことができました。

教授のオフィスに通い 理解するまで質問する

専攻は経済学で、ゆくゆくは環境経済学や発展経済学などを学び、発展途上国の問題に

ついて、経済的な視点から貢献できればと考えています。コルビー大学の経済学部には素晴らしい教授がそろい、そのネットワークを生かして、さまざまな分野の経済学者が講演に来てくださいます。昨年は世界銀行と国際通貨基金の方がセミナーを開き、学生にとってはまたとない学びのチャンスとなりました。

授業はディスカッションが中心。初めはまったく発言できず、歯がゆい思いをしたこともあります。それ以来、教授のオフィスアワーには足しげく通い、分からない点は徹底的につぶしていき、徐々にディスカッションに参加できるようになりました。「予習をしっかりする」「分からないことは理解するまで教授に聞く」、こうした当たり前の努力が重要なだと再認識しました。

ラグビーチームでは、今年度は主務を務める。



大学のフードフェスティバルで日本食を披露。



多くの日本人学生が、未来に大きな夢を描き、アメリカの大学や大学院に留学している。彼らはどのような生活を送り、どのようなことを学んだのだろうか。その十人十色の体験談は留学を考える読者のみなさんに、たくさんのヒントと勇気を与えてくれるだろう。

本コラムは以下の2団体の協力により連載しています。
●JGSAU (米国大学院学生会) <http://gakuiyugaku.net/>
●USCANJ (アメリカ学部卒業生ネットワーク) <http://www.uscanj.net/>

多国籍な仲間たちと 政治や文化で大熱論

平日は、授業がない時間帯はほとんど勉強していますが、週に3回ほど、ラグビーの練習をしています。また、新しい楽器に挑戦しようとバイオリンのレッスンも始めました。翌日の授業の予習もあるので、就寝時間はいつも1時から2時くらい。週末は友人と地元のレストランに行ってリフレッシュすることもあります。いかにせん田舎町なので、学内でビリヤードや映画を楽しむことのほうが多いです。

周りにはアメリカの学生だけでなく、留学生もたくさんいます。多様な価値観を肌身で感じることで、自分の視野が広がっていくのを感じます。ときには食堂で数時間にわたって政治や文化の話で盛り上がることも。このような体験こそ、留学の醍醐味だと感じます。

コルビー大学 松浦隆之介さん

高校生になった頃から国連などの国際機関で働きたいと思うように。米国に交換留学したのをきっかけに、リベラルアーツカレッジへの進学を希望。2013年、コルビー大学に入学。



松浦さんに一問一答!

Q 留学して成長したと思うことは?
アウトプットの能力が上がったこと。エッセイやプレゼンテーションの課題で、アイデアを練り、より洗練されたものへと上げていくプロセスを繰り返すことで、自分の伝えたいことを的確に表現できるようになりました。

Q 実りある留学にするための秘訣は?
恥をかくことを恐れなくてください。日本では間違いを恐れて発言しない学生が多いですが、米国では常に意見が求められます。自分の考えを発信することは、勉強面だけでなく社交面でも成功するための秘訣となるでしょう。

Q 留学を目指す読者にアドバイスを
まずはとにかく海外に飛び出すことをすすめます。僕も留学前は不安でしたが、来てしまえば意外となんとかなるもの。現地でも悩んだり苦しんだりすることこそ、自分自身を成長させる最大のチャンスだと思います。



研究の成果が世の中の役に立つ その思いが留学生生活を支える

専門性を磨いて 発言力を身につける

学部時代は工学部の社会基盤学科で学び、どちらかといえば、問題を多角的な視点からとらえるジェネラリストの素養を身につけました。これはとても大切な力だと思う反面、自分の武器となる専門性がなければ、意見を持っていても議論のテーブルにすらつけないのではないか、という不安も感じました。そこで、エンジニアとしての専門性を磨くために、土木工学で名高いマサチューセッツ大学(MIT)の大学院への進学を考えました。

MITを選んだのは、水文学とマラリアに関するプロジェクトにひかれたからです。工学的アプローチをきちんと学べるうえに、マラリアの予測・予防といった研究のアプリケーションが明確で、世の中のためになる研究を行えることに大きな魅力を感じました。そして現在は、幸いにもそのプロジェクトに従事し、日々研究に取り組んでいます。

MITの大学院は、研究者を目指す学生が多く、研究に対するモチベーションが非常に高いのが特長です。また、キャンパスを歩いていると、科学、政治、文化などさまざまなセ

ミナーの告知を見かけます。各界の第一線で活躍する方々のお話を頻りに聞くことができるのも、MITの大きな魅力のひとつでしょう。

学外コミュニティでも 勢力的に活動

研究の話英語でするのは比較的簡単ですが、食事をしながら友人と話すのはなかなか苦労するものです。私の場合、特に用事がなくても友人とおしゃべりするようにしています。知らない学生や教授とすれ違っても、「ハロー、調子どう? +ひとこと」が言えるかどうか。これがアメリカの文化になじみ、多くの人と仲良くなるカギではないでしょうか。

友人たちとチャールズ川でセーリング。



学外でもさまざまな活動に力を入れています。国際開発に興味を持つ日本人が集まる「日本人ボストン開発コミュニティ」では副幹事を務めています。また、官僚や企業の方と議論の機会を求めて「Vogel塾」という勉強会に所属し、分科会の運営団をしています。スポーツも大好きで、週3回のジム通いは、心身のリフレッシュに欠かせません。

留学で得た力を武器に 国際機関で働きたい

卒業後は世界銀行で働きたいと考えています。「すでに90%幸せな先進国を、最先端技術を駆使して95%幸せな国にすること」と「60%幸せな途上国を、80%幸せな国にすること」。両者がもし同じ努力で達成できるのなら、私は後者に魅力を感じます。留学で得た英語力と専門知識、そして議論する力を総動員して、夢に向かって歩いていきたいと思っています。

現地調査で訪れたエチオピアの子どもたち。



マサチューセッツ工科大学 遠藤礼子さん

2011年3月に東京大学工学部を卒業し、同年9月、マサチューセッツ工科大学の博士課程に入学。ハーバード公衆衛生大学院でも授業をとるなど横断的な学びを実践する。



遠藤さんに一問一答!

Q 留学して成長したと思うことは?
英語力や専門知識が身についたことで、将来の選択肢が広がったと思いますが、それ以上に手応えを感じるのは、コミュニケーションの重要さ、おもしろさを知ったこと。この内面的な成長が、私にとっては一番の大きな収穫です。

Q 実りある留学にするための秘訣は?
自分の意見を言うこと。アイデアがあればどんどん発信すべきです。また、英語力に不安があれば、ランチは友人と食べる、毎日1時間ニュースを聞くなど、ちょっとした工夫で英語とかわる機会を増やすことが大切です。

Q 留学を目指す読者にアドバイスを
新しいことにチャレンジするって、とても楽しいですね。とくに留学は自分の自信にもつながるし、さまざまなバックグラウンドの人と交流できるのも魅力です。さまざまな苦労はありますが、毎日とても楽しんでます。

グローバル教育に挑む大学

明治大学

主体的な学びで育成する
未来開拓力に優れた人材

「MEIJI8000」によって、スーパーグローバル大学に選定された明治大学。毎年の卒業生 8000人すべてを未来開拓力に優れた人材に育てようという骨太の試みだ。強い「個」の育成を理念に掲げてきた教育の伝統は国際化を迎えた今、その真価を発揮しようとしている。

建学の精神に根差して進む
明治大学のグローバル戦略

2009年、国際化拠点大学（グローバル30＝G30）の採択を受けて、明治大学では国際連携機構と国際連携本部を設置。トップのリーダーシップのもとで、①国際連携の推進に係る企画、②外国の高等教育機関との連携・協定、③海外拠点の整備、④国際的な学術会議等の開催、⑤外国人学識者の招へいおよび受入れ、⑥学部・大学院および教育機関が行う国際連携の推進に係る基盤整備および情報収集、⑦教職員の国際研修という7つの側面から、全学的な国際化に取り組んできた。2010年には、国際連携機構所属の特任教員や客員教員を新たに採用。国際連携推進機構の組織を整備し、G30政策の円滑な遂行に力を入れてきた。

国際交流担当副学長で国際連携本部長を務める勝悦子教授（政治経済学部）は言う。

「G30採択は、本学の国際化推進を加速させるひとつのきっかけではありましたが、しかし明治大学にはもともと、『権利・自由、独立・自治』を建学の精神に掲げてきた歴史と、『個』を伸ばす教育の伝統があります。私たちが現在取り組んでいるグローバル人材育成も、そうした教育理念の延長線上に位置づけられるものです。自らの頭で考え、主体的に学び、行動する、タフでしなやかな『個』を育てることが重要だという認識は、学内で広く共有されていますし、そうした人材の育成は、グローバル化時代において我々に課せられた社会的使命でもあると考えています」

文部科学省の採択を受けた
3つの主要プログラム

学生が、高い専門知識を背景とする論理的

思考力と、人類愛に根差した国際教養を身につけ、体験を通じて異文化理解を深められるよう、明治大学ではさまざまなプログラムを開発してきた。このうちの3件が、文部科学省の国公立大学を通じた大学教育改革の支援プログラムに採択されている。

1. 明治大学グローバル人材育成推進事業
（グローバル人材育成推進事業 特殊型）

明治大学の国際化を牽引する政治経済学部の取り組みで、多様な海外留学プログラムや、実践的英語力強化プログラムなどの展開が目目される。この取り組みを大学全体に広げることで、①強い個、②高い使命感と倫理感、③高い語学能力とコミュニケーション能力、④専門性と実践的な課題発見・解決能力、⑤異文化への鋭い感受性と理解力という5つの特性を有する「グローバル公共人材」の育成拠点を目指す。

2. 「日本 ASEAN リテラシーを重視した
実務型リーダー育成プログラム」
（大学の世界展開力強化事業—ASEAN
諸国大学間との交流形成支援事業—）

日本とASEAN諸国の双方に、「日本 ASEAN 実務型リーダー」を育成することを目的とするプログラム。ASEAN大学連合加盟校を中心とする大学と連携して、国際共同教育コンソーシアムを形成し、日本人とASEANの学生に、言語、文化、商習慣等の相互理解促進に重点をおいた教育を提供している。

2. 国際機関等との連携による
「国際協力人材」育成プログラム
（大学間連携共同教育推進事業）

明治大学、立教大学、国際大学の3大学による、国際協力人材育成のための共同教育プログラム。国際社会が取り組むべきグローバル・イシューを取り上げ、授業はすべて英語

で進められる。

「MEIJI8000」で
2人に1人の留学を目指す

こうした個別のプログラムは、国際連携機構のイニシアチブによって、全学レベルで取り組みがなされ、「世界へ！ MEIJI8000—学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成—」として体系化された。そしてこの「MEIJI8000」により、明治大学は2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学」に選定された。

「本学の毎年の卒業生数は、学部・大学院を合わせておよそ8000人です。この8000人全員について、主体的に考え、決断し、活動し、教養とコミュニケーション力を磨き、未来を切り拓く力を身につけてもらおうというのが、『MEIJI8000』の基本理念です。毎年8000名の学生を、『未来開拓力に優れた人材』に育てあげて社会に送り出そうとの、本学の決意そのものといってもよいでしょう」（勝教授）

「MEIJI8000」では、世界との活発な交流と、アクティブラーニング（主体的学び）が重要な柱となる。その実現のため、留学、ジョイント・デグリー、インターンシップなど、100を数える国際プログラムを開設。留学生の受け入れ促進、海外拠点や協定校との国際ネットワークの構築、国際会議等への学生の参加など、内外キャンパスをすべてグローバル・キャンパスとしていく。

なかでも留学は、体験を通して世界を知る機会として奨励しており、全学で年間およそ1000人が長期短期を合わせて留学を経験している。短期の語学研修、語学研修にアカデミックプログラムを合わせたプログラム、インターンシップ、国連ボランティア、



国際交流担当副学長、国際連携本部長を務める勝悦子教授

ダブルデグリーを含めた1年以上の長期留学まで、留学の行き先も形態も多様だ。勝教授によると、10年後には現在の4倍にあたる4000人の日本人学生を海外に送り出し、同じく4000人の海外留学生を受け入れる計画だという。

「毎年4000人の学生を海外に送り出すと、4年間で1万6000人になります。明治大学には3万2000人の学生がいますので、今から10年後には2人に1人の学生が、何らかの形で海外留学を経験することになるでしょう。」

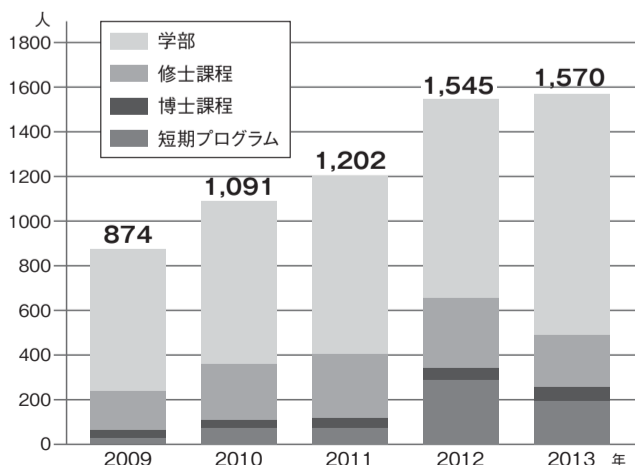
海外のトップスクールへ留学すると、単位を取ることがいかに難しいかが分かります。毎日山のような課題をこなし、能動的に授業に参加して、夢中で勉強しなくてはなりません。そうした体験を経て帰ってきた学生は、勉学に対する意欲やポテンシャルが、明らかに向上します。さらにその彼らの存在が、他の学生や教師にもよい意味での刺激となっています」

留学の意義や、留学をめぐるさまざまな可能性について早い段階で知ってもらおうと、1年の前期には「留学のすすめ」という授業を展開。学外からも多様な講師を招くほか、留学を実現した学生や卒業生の話を聞く機会も設けている。「留学に必要な成績や英語力の条件が入学した段階で分かれば、計画も立てやすく、真剣に勉学に取り組むインセンティブにもなる」と、勝教授は語っている。

「一般教養」の力を得て
世界を理解し、日本を発信

一方、明治大学では現在、年間およそ1600人の留学生を受け入れているが、10年後にはこれまた、4000人規模にまで

留学生受け入れ数の推移



留学生の会話の輪に勝教授が加わる。



英語コースの授業。学生たちの表情が印象的だ。



日本語短期研修プログラムで日本文化を体験。



国際日本学部の学生たちが集合。

拡大されることになる。異文化理解や英語力向上の機会は、キャンパス内でもますます広がっていくだろう。

その一例として、英語で行う授業もすでに約600科目で導入されている。Law in JapanやCool Japanといった夏の短期集中講座をはじめ、社会科学、経済、法学などの分野で英語の授業が始まっている。理工学研究科機械工学専攻の学生は韓国の大学と英語でワークショップを行っている。

さらに基礎的な英語力の底上げを図るべく、2013年度からは、政治経済学部を中心とした全学部の学生を対象に、「実践的英語力強化プログラム」を展開。留学を視野に、IELTSなど英語運用力テストの対策プログラムも充実させている。加えて政治経済学部では、コミュニケーション能力の向上に

重点を置いた「英語実践力特別強化プログラムACE (Advanced Communicative English)」が成果を上げており、課外プログラムとして導入したオンライン英会話も学生に好評だ。

多様な英語プログラムにとどまらず、明治大学のグローバル人材育成教育の特色は、一般教養を重視する点にもある。国際連携本部長の立場から、あらためて勝教授に話を聞いた。「本学では2008年に、国際化の流れのひとつとして、『国際日本学部』を開設しました。海外に出ると、日本人でありながら、自分がいかに日本を知らないかに気づかされます。日本の歴史もよく知らない、日本の文化や日本が抱える課題についてもよく知らない。これでは国際社会で自信を持って生きていくことはできません。本学では、日本に関する一

般教養をしっかりと学ぶと同時に、日本を国際的に発信していきます。

日本のことと同様、私たちは世界についても、もっと知らなくてはなりません。広く国際社会を活動の場としていくこれからの日本人にとって、世界の人々と共通する素養を身につけておくことは、相互理解やコミュニケーションの観点においても不可欠です。歴史、宗教、社会学、音楽、文学、芸術、また自然科学から数学まで、広域な基礎的な知識を修めておくことも必要でしょう」

教養という点では、誰もが直面するグローバルイシュー（地球規模の問題）も、国際教養の範ちゅうだ。海外の大学との連携プログラムでもこうした課題を取り上げ、国際教養を軸に展開されるという。

「一般教養の科目は、1、2年生にかけて

集中的に学びます。幅広い分野をまんべんなく学ぶことは、4年間の大学生活を俯瞰し、専門分野を考えるうえでも必ず役に立つでしょう。日本人としてまた国際人としての教養を深め、それをベースに主体的に高い専門性を究めていく。そうした学生を本学では育てていきたいと考えています」

明治大学

1881年、明治法律学校として創立。学部の増設にともない総合大学となった現在も、創立当時から「権利自由、独立自治」という建学の精神を基軸に、社会に貢献する人材を輩出している。昨年は、第4のキャンパスが東京・中野に開校した。

世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

日本でも約400の企業・団体が採用!

●三井物産 ●住友商事 ●三菱重工業 ●商船三井 ●メリルリンチ
●日立製作所 ●ユニリーバ・ジャパン ●エーザイ ●日本電気 ●富士通
●伊藤忠テクノソリューションズ ●ヒルトンホテル ●旭硝子
●横河電機 ●リクルートホールディングス ●毎日コミュニケーションズ
●日産ディーゼル工業 ●長瀬産業 ●オリジン電気 ●サントリー
●PFU ●富士通オートメーション ●富士通ラーニングメディア
●ヤンマー ●シェンコーポレーションジャパン ●JAC Japan
●カネカ ●ブリティッシュ・カウンシル ●マースク ●佐川グローバルロジスティクス
●日本テキサス・インスツルメンツ ●マーレエンジンコンポーネンツジャパン
●ニフコ ●ユーロクリア・バンク ●ネスレ日本
●全日空商事 ●大日本住友製薬 ●バイオ・ラッドラボラトリーズ
●ジャパンフード ●アマゾンジャパン ●アイ・アム ●早稲田大学理工学部
●広島大学 ●熊本大学 ●京都大学 ●神戸大学ESS 他多数

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS
Fast, reliable,
and global

Standard Test

リスニング/リーディング/語彙問題

¥ 2,900 (税込み)

Computer Test

リスニング/リーディング/語彙問題

¥ 2,900 (税込み)

Speaking Test

ネイティブ試験官との対面式

¥ 6,900 (税込み)

Writing Test

記述式

¥ 3,900 (税込み)

詳細は

<http://www.eiken.or.jp/bulats/>

お問い合わせは

Tel : 03-3266-6366 Email : stepbulats@eiken.or.jp



UNIVERSITY of CAMBRIDGE
ESOL Examinations

BULATS(ブラッツ)は、公益財団法人日本英語検定協会と英国ケンブリッジ大学の語学試験機関であるケンブリッジ英語検定機構が共同開発したテストサービスです。



Vol.26 by Osaki Tomohiro

英字新聞記者の視点

日本のニュースを英語で発信しよう

日本で起こっていることを外国人に伝えるときは、物事の背景を理解し、わかりやすく説明するスキルが求められる。英字新聞 The Japan Times の記者に、日本の「今」を世界に伝えるためのコツを教えてください。

Topic 01

免税枠拡大で新サービス登場!

From free Wi-Fi to prayer rooms, Japan's retailers are devising creative ways to encourage foreign tourists to spend. The government significantly expanded the range of goods that stores can sell to visitors duty-free. But some retailers are going it alone in pursuit of the tourist dollar.

無料のWiFiから祈祷室まで、日本の小売商たちは、外国人観光客の出費を促そうと工夫を行っている。政府は、商店が訪日外国人に売ることのできる免税商品の枠を大幅に広げたが、小売商たちは、ドルを落としてもらう方法を独自に追求しているのである。

消耗品免税で訪れたビジネスチャンス

日本の非居住者である外国人旅行者に対しては、消費税が免除される免税制度がありますが、今年の10月1日から、対象となる商品の枠が大きく広がりました。これまでは家電、バッグ、衣服などごく一部のものに限られていたのですが、新しい制度により、食料品、飲料品、化粧品などの消耗品も、免税品として販売することが可能となったのです。大手小売店などは、これを大きなビジネスチャンスととらえ、外国人客を獲得するための新しいサービスを始めました。

大手デパートの高島屋ではこの秋、新宿店内にイスラム教徒向けの祈祷室を設けました。マレーシアやインドネシアといったイスラム教徒の多い国のビザの規制が緩和されてきたことから、より多くのイスラム教徒の観光客

が日本を訪れるようになったからです。イスラム教徒には1日5回お祈りをするという習慣がありますが、これまで「都心部でお祈りの場所を確保するのが難しい」という問題がありました。祈祷室を設置することで、さらに大勢のイスラム教徒の買物客に来店してほしいと考えているようです。

高島屋ではこのほか、英語や中国語などを話すことができるスタッフを全国で42人から56人に増やし、外国人がホテルの外でもインターネットを使えるようにと、30分間無料でWiFiを利用できる環境を店内に整えています。

iPadのテレビ電話で美容相談にも対応

生活用品や食品、雑貨などのディスカウントストアチェーンであるドン・キホーテは、新宿店にコールセンターを設け、iPadによるテレビ電



福岡の百貨店・岩田屋に設置されたカスタマーサービスセンター / KYODO

話を活用し、英語、中国語、韓国語で24時間問い合わせに対応しています。スタッフの中には外国人留学生もいるそうです。

外国人の間で人気の高い化粧品会社資生堂でもやはりiPadを使い、ビューティーコンサルタントと呼ばれる店員が、英語、中国語、韓国語で情報を提供しています。コンサルタントが外国語で十分に説明できなくても、iPadを使うことで、メイクのシミュレーションを見ることができるといった利点があります。

新しいサービスが生まれるということは、

新しい仕事の機会ができるということでもあります。これまで、語学を生かして仕事をするとすると、海外に出るか、国内で通訳・翻訳といった職業に就くようなイメージが強かったかもしれませんが、一般の企業が外国人向けサービスを充実させることで、語学力を活用させることのできる場が、より広がる可能性がありそうですね。

*参考記事
http://www.japantimes.co.jp/news/2014/10/02/business/stores-see-profit-in-prayer-as-they-cater-to-foreign-tourists/#.VDk9W9Wd_v1Y

Topic 02

ハラール・フードのエキスポ開催

Titled Japan Halal Expo 2014, the two-day event in the Makuhari Messe convention center in the city of Chiba, will essentially seek to boost public awareness of halal fare, enlighten visitors on the latest market trends surrounding Muslim tourists and allow Japan-based Muslims to give feedback on whether this is a Muslim-friendly nation..

ジャパン・ハラール・エキスポ 2014 という名称で、千葉のコンベンション・センター幕張メッセにて、2日間のイベントが開催される。ハラール・フードに対する一般の認知度を高めるとともに、来場者にイスラム教徒の観光客を取り巻く最近の市場への見識を高めてもらい、日本にいるイスラム教徒から、日本はイスラム教徒にやさしい国かどうかフィードバックを得るのが、大きな目的である。

豚肉、アルコールはイスラム教では禁忌

日本を訪れる外国人観光客の数は急激に増加しつつありますが、特にマレーシアは2013年に17万6500人と前年から35.6パーセント上昇、インドネシアも13万6800人と34.8パーセント上昇。これらの国からやってく

るイスラム教徒の観光客への対応のあり方が、大きく見直されてきています。

イスラム教では食べ物に対して独特の決まりがあり、例えば豚肉やアルコールを口にすることはならず、その他の肉も、定められた手順に従って屠殺されたものでなくてはなりません。これらはイスラムの教えに沿って許されたもの、といった意味のアラビア語「ハラール

を使い、「ハラール・フード」と呼ばれています。おもにイスラム教徒の観光客への利便性を図ることを目的に、近年、このハラール・フードを日本に広めようという動きがあります。11月26日(水)、27日(木)には千葉の幕張メッセで、第一回となる「ジャパン・ハラール・エキスポ 2014」が開催されることとなりました。ハラール・フードを輸入・製造している食品会社や、ホテル・レストラン・旅行会社、イスラム市場に関心のある企業、イスラム関連の団体が集まり、展示、商談、情報交換を行います。

日本人の衛生観念がハラール市場を拡大する

あいにく日本でのイスラム教やハラール・フードへの認知度はあまり高いとは言えず、「イスラム教徒の観光客がやってきても、お祈りするにはどこに行けばよいか分からず、食べ物にどういった材料が使われているかを知るための情報も乏しい。このイベントがイスラム教徒のニーズを理解する助けになってほしい」と、幕張メッセの寺澤義親常務取締役・コンベンション事業本部長は語っていました。

例えば、「東京ばな奈」というお菓子は日本のおみやげとして外国人に人気がありますが、動物性タンパク質であるゼラチンを使用しているため、イスラム教徒は口にすることができません。

しかし、イベントの共催者であるマレーシアのハッジ・ブルハヌディン・ムハンマド・ラジ氏は、日本にハラール・フードの市場が育つ可能性があると考えています。「ハラール・フードを広めるには、許されている食べ物とそうでないものをきちんと分ける衛生観念が大切。日本人にはあらかじめその感覚が備わっている」。同氏はマレーシアの著名なアニメーション会社の社長で、同社が製作しているマレーシアの人気アニメのキャラクターが、イベントのマスコットとして使われています。

ハラール・フードは果たしてこれから日本に広まっていくのかどうか、興味のある人は会場に足を運んでみてください。

ジャパン・ハラール・エキスポ 2014
<http://japan-halal.jp/>

*参考記事
http://www.japantimes.co.jp/news/2014/09/25/national/major-halal-food-expo-planned-help-make-japan-friendly-muslim-tourists/#.VDX6gWd_v1Y



This month's selections from The Japan Times
～ 英文記事を読んでみよう～

Japan Robot Week offers new approaches to nursing care

KAZUAKI NAGATA
STAFF WRITER

Japan Robot Week kicked off Wednesday with a major Tokyo exhibition showcasing new technologies for everything from communications and remote video monitoring to disaster response.

Nursing is a prominent theme, with a special display area for products designed to facilitate care for the elderly or infirm.

The nursing space was arranged by the Ministry of Economy, Trade and Industry to give manufacturers a boost as Japan grapples with the aging population.

"The aging society is a big issue for this country," said Takahisa Mano, deputy director of technical research at the Manufacturing Science and Technology Center, the organization overseeing the special exhibition space. Mano said in the future there may be too few facilities and staff to care for those who need it.

A typical exhibitor is Cyberdyne Inc., of Tsukuba, Ibaraki Prefecture. The firm is displaying its Hybrid Assistive Limb

— known as HAL — which helps people with severely limited leg mobility to walk.

This month, the firm announced the release of a new HAL model designed for healthy people. Worn on the waist, it gives the user extra lifting power when picking up heavy objects.

Akira Hosokawa, a Cyberdyne business planner, said the new unit mainly targets people working at nursing care facilities.

"Employee turnover is a serious problem for the nursing care industry," said Hosokawa. He said many workers suffer back problems from carrying patients, a reason often cited for leaving the job.

Tokyo University of Science and Hosei University are also displaying wearable robot suits that assist people in performing nursing care work.

Other nursing care-related exhibits are not conventional robots but systems, such as those that use cameras and computers to monitor elderly people living alone or those with dementia.

Meanwhile, Mitsubishi Electric Tokki



Tomy Co.'s humanoid robot prototype Robi jr. is unveiled at Japan Robot Week 2014 in Tokyo on Wednesday. Robi jr.'s speech recognition system, with 1,000 Japanese phrases, lets it respond to the human voice. Below: A Tokyo University of Science team demonstrates a new nursing care robot during the event at Tokyo Big Sight.

KAZUAKI NAGATA

Systems Corp. is showcasing a machine designed to work at disaster sites.

Its Frigo-M weighs 23 kg and resembles a small tank.

The robot can run up and down stairs and has already proved its paces inside the No. 1 reactor building at the Fukushima No. 1 nuclear plant.

Robot toys that can verbally communicate with their users are on display as well.

Tomy Co., the major Tokyo-based toy maker, unveiled a new communications robot called Robi jr. that can speak about 1,000 phrases and sing about 50 songs.

The 20-cm-tall humanoid robot that will hit the market in January can move its arms and legs, but can't walk.

The biennial exhibition, featuring 144 firms, runs until Friday at Tokyo Big Sight. (Oct. 15, 2014)

Hosei students prepare to publish their own English-language newspaper

MINORU MATSUTANI
STAFF WRITER

A joint project between The Japan Times and Hosei University in Tokyo is helping students learn reporting skills for an English-language publication.

The newspaper's working title is the Hosei Herald. It aims to give undergraduates practical experience in journalism and a chance to strengthen their foreign-language skills.

The classes require students to discuss themes, develop story ideas and write. One of their tutors is Mutsuko Murakami, a lecturer in journalism at International Christian University and a former reporter for English-language media, including Time Inc.'s Asiaweek magazine.

The second tutor is Neil DeMaere of English Language Education Council Inc.

Several Japanese universities publish newspapers in English, but mainly for PR purposes. Students at some universities publish full English newspapers, but only as club-style after-class activities.

In Hosei University's case, the project has a central educational purpose and is unique in having a professional journalist teach it.

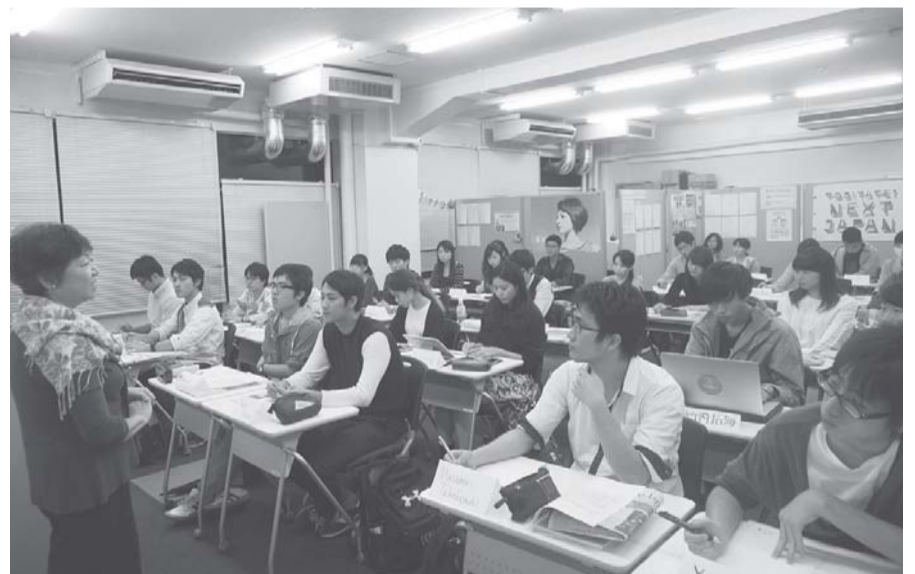
"We first thought about producing an English newspaper for PR purposes. But if we think about the students, this style is better," said Tetsuya Koshiishi, a professor in the faculty of intercultural communications at Hosei University in Chiyoda Ward. "I think such a program is rare in Japanese universities."

The course kicked off Oct. 13. The schedule comprises 11 classes until January.

For the inaugural class, 37 students turned up. They were from a variety of academic backgrounds and years.

The tutors will oversee discussion of story ideas and will teach interviewing and writing techniques. The Japan Times will assist in editing and page layout.

Koshiishi was pleasantly surprised with the initial turnout, as it appeared to reflect genuine interest in the subject — the course does not earn the students any official credits.



Journalist Mutsuko Murakami teaches students at Hosei University in Tokyo on Oct. 13 as they begin work on their own English-language newspaper. The joint project with The Japan Times aims to teach a range of skills.

HOSEI UNIVERSITY

"Students tend to only think about how to get credits. But taking a detour may be very important. In a way, it is good that the course is noncredit because students who came here today came with their own interest," he said.

Specializing not in journalism but in English linguistics, Koshiishi fixed on the idea of setting up an English-language newspaper because "writing takes a lot of thinking," he said.

As class commenced, Koshiishi told the students he expects them to overcome three hurdles — making a story interesting to readers, writing in English

and writing in a journalistic style.

The students offered various reasons for taking part.

Yoshihiro Uonomi, a sophomore majoring in international politics, said he doesn't necessarily want to become a journalist.

"I want to understand the mindset of people who write articles for newspapers. I thought I can get the glimpse of it by becoming a writer myself," he said.

Sophomore Yuto Sugiki wants to become a journalist. He sees the class as an opportunity to learn from a lecturer with first-hand experience. (Oct. 20, 2014)

国境なきマーケットに挑む 屈指の化学素材メーカー

繊維不況を打開するための グローバル戦略

創業時の社名「東洋レーヨン」が示すように、化学繊維の製造メーカーとして誕生した「東レ」だが、現在では繊維に限らず幅広い分野の基礎材料から先端素材までを扱う化学素材メーカーへと変貌を遂げている。

「東レは、ナイロンを日本で初めて工業化した会社です。戦後の復興期に合成繊維の製造で大きく成長を遂げ、そこで培った技術をベースに、高度経済成長時代にはプラスチック製品の素材やファインケミカルなどの“素材”作りへと事業を拡大してきたのです」と、人事部人事採用課長の河原健策さん。

- 現在、東レの基幹を成す事業とは、
- ◆ 繊維……ナイロン、ポリエステル、アクリルなどの糸・綿・紡績糸、人工皮革など。株式会社ユニクロと共同開発した「ヒートテック」が注目を集める。
 - ◆ プラスチック・ケミカル……樹脂および樹脂成形品、各種フィルムとその加工品、医薬・農業原料などのファインケミカル。の2つ。その他に、
 - ◆ ディスプレイ向けフィルムや液晶カラーフィルター、半導体材料などの情報通信材料・機器
 - ◆ 炭素繊維とその複合材料や成形品
 - ◆ 水処理膜をはじめとした環境・エンジニアリング事業
 - ◆ 医薬品、医療製品などのライフサイエンス

という4つの事業を柱に据え、中長期にわたる収益拡大を図っている。

「繊維産業は、1950年代から国内での市場が飽和状態となり、ずっと不況産業と言われてきました。しかし、世界ではまだまだ成長する余地がある。繊維を捨て去るのではなく、残すために選んだのがグローバル展開だったのです。それと並行して先端材料の開発にも力を注いできた結果、長年の努力が功を奏し、「ヒートテック」などの機能性繊維として結実し、再び利益を上げられる基幹事業として返り咲いたというわけです」

東レの海外への進出は、1956年に香港の商事会社に出資、1963年にタイに生産工場を設立するなど、きわめて早い段階から始まっている。現在では日本を含む25の国と地域に253社(国内102社、海外151社)のグループ会社、国内外に4万5881名の社員を擁するグローバルな企業集団へと発展してきた。

「繊維事業から始まったグローバル展開というもの、他の事業も追随している形です。長期経営ビジョンのひとつである“アジア・アメリカ・新興国事業拡大プロジェクト”では、経済成長の著しい地域を成長地域と捉え、東レの得意とするような高性能素材を中心に事業展開していこうとしています」

素材の力を信じ 社会に役立てる会社

「“素材”には社会を本質的に変える力があ

る」を合い言葉に、化学の力で社会に貢献することを企業理念として掲げている東レ。

「例えば、軽くて強い炭素繊維は航空機の機体や自動車の車体の軽量化を促し、それによって燃料の節約や航路の多様化に貢献しています。また、海水を飲料水に濾過することができる水処理膜などは、ダイレクトに環境貢献に役立っています。これからの時代、東レはすべての事業で環境を意識したモノづくりを目指しています」と河原さん。

採用の面でも、こうした「モノづくりによって世の中に役立つ」という理念に共感する人材を

求めている。素材のおもしろさを見だし、社会に提供する喜びを感じ、誠実に仕事に向き合える人であれば、国籍・学部は問わない。実際、幅広い専門性やキャラクターを持つ社員が集い、それぞれのバックグラウンドを発揮してモノづくりに励んでいるのが東レの財産とのことだ。

モノづくりと一口に言っても、仕事の内容は多岐にわたる。研究開発部門では、プラスチックを振る基礎研究から製品化をにらんだ開発寄りの研究まであり、完成した新素材を工場規模での安定した製造過程に乗せるための生産技術も重要だ。一貫したモノづくりのためには、化学生物系の研究者のほか、競争力

のある製造ラインを仕上げていくための機械や電気のエンジニアの活躍が必須となる。

また、素材メーカーの営業職は、できあがった製品を販売するのではなく、市場のニーズをいち早く嗅ぎ取って、今ある素材の新しい用途を提案したり、これから世の中に役立つ素材とは何かを考え、研究部門にぶつけて開発をうながす力が求められる。素材の出口は信じられないほど多いので、営業職一人ひとりはその使い道を模索しつつ、マーケティング&セールスを担当しているのだ。

採用実績は技術系で約100名、事務系で約50名。事務系採用者も全員が入社から7ヵ月は工場勤務となる。そこで自分が担当



人事部人事採用課長の河原健策さん



コンセプトカーを製作し、先端素材の活用方法を世の中に提案する。



東レの水処理膜は日々1億人以上の生活用水を支えている。

することになる素材の特性や製造工程、原料の入手経路などについて学び、そこに携わる技術者との人脈を築き、モノづくりの現場を体感する。素材のおもしろさを知り、素材を世の中に広める同士としての連帯感を得るための、大切な時間である。

世界との関わりなくして東レ人生はありえない

「海外と関わりを持たずに東レ人生を終える総合職はほほいないと思います」と河原さ

んが言うように、世界中に生産拠点や取引先が存在する東レでは、技術系・事務系ともになんらかの場面で海外との交渉を持つ。

例えばエンジニアだと、日本でしっかりと実績を積んだ後、そのノウハウを持って海外に赴き、工場を立ち上げ安定生産のためのラインを整備し、現地のニーズを取り入れ

た製品開発までを担当する。また、近年は海外にも研究開発拠点を設けているため、研究職であっても海外のスタッフと連携して研究を進めるケースがある。営業職の場合、海外拠点への赴任はもちろんのこと、もともとが国際色豊かな取引先を相手にしているだけでなく、担当していた日本企業が海外に進出した場合も含め、海外の取引先とのやりとりが日常的に行われている。

まさに「世界と戦えるグローバルな人材」を求める東レの採用では、当然のことながら

英語力が重視される。ただし、英語能力テストの基準などが決められているというわけではなく、その人の持つ強みのひとつとして評価している。

もちろん、入社してからの英語関連の教育制度も充実している。まず、新入社員は入社前に受けたテストの点数によってクラス分けされ、最初の研修時に英語プログラムを受講する。各部署に配属されてからも、通信教育の受講や拠点ごとの英会話教室などの機会が用意されている。グローバルに活躍したいが英語力に自信がないという社員はこうした制度を利用して英語スキルを磨き、海外へと羽ばたくチャンスを狙っているとのことだ。

また、各部署から推薦された人材を「次世代海外候補」として認定し、1週間の集中レッスンを1ヵ月ごとに3回繰り返して受講する短期集中英語強化プログラム「東レビジネス英語スクール」という制度もある。

さらに社内留学制度にも歴史があり、研究者を対象にした海外の大学や研究機関で学ぶ特命留学や MBA 取得コースなど、キャリアアップとしての留学制度のほかに、3ヵ月～半年間の語学留学を経て海外現地法人で人

事部研修生として実際の業務を担当するという「海外若手研修制度」も実施。毎年、英語圏と中国語圏に5～6名が派遣されている。この制度を利用した留学生の中にはそのまま正式に駐在発令につながるケースも多く、海外に羽ばたきたい社員には人気の制度だ。

50年以上にわたって海外事業を展開してきた東レのモノづくりを支えてきたのは、「Made in TORAY」という考え方。この思想のもと、世界中のどの国、どの地域で生産されても、すべてに東レ独自の技術が生かされ、高いクオリティを保った製品が提供され続けている。

Corporate Information

東レ株式会社

化学繊維レーヨンの製造会社「東洋レーヨン」として1926年に創業。以来、ナイロンやポリエステルをはじめとした化学繊維の開発と製造によって成長を続ける。1970年、現在の社名「東レ」に変更。以降は長期にわたって培われた有機合成化学、高分子化学、バイオテクノロジーなどの技術をもとに、樹脂・フィルム製品や炭素繊維、水処理膜、医薬医療品など幅広い事業をグローバルに展開している。

グローバル企業の先輩に聞く！

入社以来の地道な努力で苦手だった英語をマスター

比企直久さん 東レ株式会社
ケミカル事業部 有機化学品課

Q 社内留学の経験について教えてください。

入社前から海外で働きたいという志向が強かったわりに、英語力は中学卒業程度（笑）。取引先とのやりとりも、商社を挟んだりメールに逃げたりして、もどかしく悔しい思いをずっと抱いていました。同じ部署にいた留学経験のある先輩が助言し続けてくれたのを励みに、4年間少しずつ英語を勉強して海外研修制度に応募。面接を経て2012年1月から留学できました。まず英国オックスフォードで3ヵ月間語学学校に通い、4月から翌年6月までドイツの欧州事務所で研修生として商社業務を担当。英語力の向上という点では、英国家庭でのホームステイや語学学校に通う各国の生徒たちとの交流を通して、英語でのコミュニケーション能力を養えたと思います。必要な時に英語の引き出しをぱっと開けて会話を成り立たせる力が足りないことを痛感していたので、授業が終わった後もできるだけ同級生と一緒に過ごし、自分は英語を話せるという自信をつけていきました。

Q 欧州事務所での研修で印象に残っているのは？

ドイツの欧州事務所では、いきなり電話をして新素材を売り込んだり、欧州のメーカーが一堂に会する展示会でブースに飛び込んで交渉するなど、日本ではあまり経験しなかった最前線の営業活動も行い、そのなかで直

接的なコミュニケーションの機会が一気に増えました。苦労したのは、どの工場でどんな素材を扱っているかが分からず、電話をたらい回しにされたこと。でも、その拡販業務を通して欧州中の会社や工場を一軒一軒整理していき、最終的には欧州の化学品のマーケットをマップにして提出することができました。営業活動を通して調査したことをもとにマーケットを「見える化」し、戦略を立てるという手法は、帰国後も役に立っています。

Q 留学で培った成果とは？

留学前には又聞きや文面でしか聞けなかった取引先の意向を、直接会って話せるようになりまし。いつもポジティブなことしか言わない相手の本音を探るには、表情や声色を直接感じて確認するしかないと感じています。以前は頼りがちだった商社の方に対して、今は動いていただくという位置づけです。また、常に危機感を持ってマーケット全体の勢力分布を意識し、直接取引のある会社以外のお客様ともコミュニケーションを図り、太い流れに乗り続けていくという戦略の立て方も、留学時の経験が生きていると思います。

Q 今後の希望は？

海外駐在を希望しています。ひとつの製品に関して、まず日本でしっかりと仕事をやり遂げた後、欧州や米国の拠点に行きたく

い。ただ、上司からはおまえは新興国で苦労してこいと言われています（笑）。留学から帰国した後も、日々の業務を通じて英語力はある程度維持できていると思いますが、最近は毎日NHKの「英語でニュース」のポッドキャストを聞いたり、化学品の専門用語の語彙を増やしたりしています。

Q 学生時代には何をやっておくべき？

英語は、とにかく毎日継続することが大切だと思います。一日にして上達することは決してない。私が入社時から始めた英語のレッスンは、毎日の通勤電車の中で20分間英語を聞くこと。わずかな時間でしたが、4年5年とコツコツ続けたことが英語能力テストの成績アップにもつながり、結果的に研修に行かせてもらえました。私は小学生から大学までラグビーをやっていたのですが、その頃は筋トレを欠かしませんでした。毎日毎日休むことなく筋トレをやっていくうちに、上げられる重さが少しずつ変わっていく。入社してからの英語の勉強も、そのダンベルの



2007年営業職として入社。名古屋事業場で実習後、08年1月本社ケミカル事業部に配属。12年1月から英国での語学研修を経てドイツの欧州事務所に研修。13年6月に帰国し現職。

重さが英語の力に変わったただけだな、と感じていました。目の前のやるべきことをしっかり一日一日続けることが数年経ったときには大きな力になっているという、ラグビーを通して得た経験は、社会人になってもさまざまな場面で応用できています。ただ、満員電車の中でいつも思ったのは、学生の時はもっと時間があったのに……という後悔でしたが（笑）。

比企さんのお仕事 アイテム

留学前の2011年頃から使っている電子辞書。取引先との会話には医学・生物用語や学名が頻繁に出てきますが、専門用語辞書が役に立ってくれます。面談の直前に頭に叩き込むこともしばしばです。



失敗は成功のカギ！ 留学トラブル解決策

留学
カウンセラーに
聞く

留学でよくある失敗やトラブルを知っておけば、海外留学を成功に導くための方法が見えてくる。留学カウンセラーとして30年以上の長きにわたって多くの留学生と対話してきた藤延芳子さんに、留学トラブルを回避する方策を教えていただいた。

藤延芳子さん

ヨーク国際留学センターチーフ留学カウンセラー、日本認定留学カウンセラー協会（JACSAC）会長。日本の留学カウンセラーの草分け的存在として、30年以上にわたって多くの相談者と向き合い、人間的な成長が望める最適な留学プランを提案している。ヨーク国際留学センター <http://www.york-global.jp/>

Case 03

ホストファミリーと もっと会話したいんです。

ホームステイ先の家族となかなかうまくコミュニケーションがとれず、悩んでいます。語学力が乏しいうえに引っ込み思案な性格のため、家族だんらんの時も彼らの話に入っていけず、ひとり自分の部屋に戻ることもしばしば。どうすればよいでしょうか。



Advice

相手を褒めれば会話のきっかけに

ホストファミリーは留学先の「家族」ですから上手につき合っていきたいですね。しかし、文化習慣の異なる家庭で暮らすと、さまざまな不具合を感じるもの。不安に思うのは留学生だけではありません。ホストファミリーから寄せられる声には、学生が「話さない」「食後にお皿を下げない」「ベッドメイキングをしない」といった悩みもあります。まずはどの家庭にも違いはあるものと理解し、ホストファミリーとの意思疎通をはかりましょう。

例えば、食事の後片づけの時、気軽にホストマザーに“May I help you?”と声をかけ一緒に作業をすれば、距離がぐっと縮まります。私のおすすめは相手を褒めること。海外の家庭では、お父さ

んがお母さんに“You look gorgeous!”などと褒めて、良い関係を築いている様子が見られます。恥ずかしいと思うかもしれませんが、会話が広がるチャンス。相手を観察して、ぜひ褒めてみてください。

もう1点、ホストファミリーの大半は学生を思いやる良い家庭ですが、残念ながらなかにはそうでない人がいるのも事実です。ホストファザーからセクハラを受け帰国した学生もいました。辛いことがあれば、学校の先生や留学エージェントに助けを求めること。多くの人の支えがあって留学は成り立っていると理解してください。ホストファミリーはもちろん、周囲との関係も大切に楽しい留学生活を送ってくださいね。

Case 04

衣食住すべてが異なり、 カルチャーショック！

アメリカに留学して2ヵ月が経ちましたが、授業の進め方、食事、住まい、コミュニケーション方法など、すべてが日本とは違って驚きの連続です。ある程度知っていたつもりでしたが、実際に体験すると大きなカルチャーショックを受けて、正直戸惑うことも多い毎日です。



イラスト：よねやまゆうこ

Advice

異なる文化を体験できるのが醍醐味

異文化理解の「Uカーブ（Wカーブ）」をご存知でしょうか。異文化に適応するまでに誰もが経験する心理プロセスのことで、まず、すべて新鮮で楽しく思える「ハネムーン期」があり、そこから文化の違いによる摩擦や不安を感じる「ショック期」を経て、多文化や価値観を受け入れられる「適応期」を迎えます。落ち込みは一時的なものですので、あまり不安にならないでくださいね。

海外ではさまざまな異なるものにぶつかります。言語や授業スタイルの違いだけでなく、公共の場でくしゃみをすれば見知らぬ人から“Bless you.”と言われたり、スーパーのスタッフに長々と話しかけられたり。特に、信仰による習慣の違

いには驚くことが多いでしょう。ある学生は、寮のルームメイトが敬虔なイスラム教徒で、毎日5回メッカの方角を向き、布の上でお祈りをする姿を見てびっくりしたと話していました。でも、多国籍な文化を肌で感じるこそ留学の醍醐味。刺激が強くてもそこから得た学びは財産になりますので、前向きに楽しんでほしいと思います。

一方で、「日本を伝える」ことも大切。海外の人は私たちの国に非常に興味を持っています。寮や学校では異文化交流イベントが頻りに開催されていますが、自国の文化習慣を英語で説明するのはなかなか難しいもの。留学先に、日本について英文で書かれた本を持って行くのもよいでしょう。

BOOK REVIEW

未来の
グローバル
リーダーに

読んでほしい1冊——『日本辺境論』

「辺境性」をキーワードに説く日本人論

みなさんは「日本人であること」について考えたことがあるだろうか。多文化が入り混じるグローバル社会において、「日本人とは何か」という問いに自分なりの答えを持つことは大きな強みになる。筆者の内田樹氏はフランス思想から武道論、映画論など横断的な知識を持つ。幅広い視点から論ぜられる日本人論を通じて、読者にも日本人としてのアイデンティティを養っていただければと思う。

本書は「日本人は辺境人である」という定義に基づき進行する。ここでの辺境人とは技

術や文化を他国から学び育った国の民族であり、言い換えれば1つの文明を主体的に展開しなかった民族のことである。この「辺境性」は国民全体の思想から取り除くことのできない「宿命」であると筆者は言う。ここで重要なのは、「辺境性」を善悪の判断対象とするのではなく一種の価値観ととらえ、これを用いて日本人の行動や思想の傾向を観察し、最終的には「日本人とは何者か」に対する答えの一端を肌で感じることでありたいと思う。

本書を通して「辺境人的な行動」はグロー

バル社会において異質であることに気づかされる。私たちの「普通」は世界基準で見れば普通ではない。これを理解することが日本人としてのアイデンティティ形成につながることは言うまでもないだろう。

筆者は「日本にはこの国固有の代替不可能な存在理由がある」と言う。この「存在理由」と真摯に向き合うことが、日本人が世界で活躍する人材になるための「はじめの一歩」ではないだろうか。

（英検 グローバル人材研究グループ 佐々木貴広）



内田 樹 著 新潮新書 / 799円 (税込)

奨学金情報

みなさんの留学をサポートしてくれる奨学金制度をご紹介します。それぞれ、年齢や居住地など応募条件が異なるため、必ず事前に問い合わせしてから応募しよう。

1) 給付元 2) 募集期間 3) 募集人数 4) 給与内容 5) お問い合わせ

日本政府奨学金

- **海外留学支援制度（大学院学位取得型）**
 - 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
 - 2) 在籍大学に問い合わせ
 - 3) 未定
 - 4) 月額 89,000 円～148,000 円（派遣先地域による）、授業料実費（上限 250 万円）
- **海外留学支援制度（協定派遣）**
 - 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
 - 2) 在籍大学に問合せ
 - 3) 未定
 - 4) 月額 6 万円～10 万円（派遣先地域による）

地方自治体奨学金

- **茨木市国際親善都市協会 留学生奨学金**
 - 1) 茨木市国際親善都市協会
 - 2) 5 月頃
 - 3) 未定
 - 4) 年額 6 万円
- **埼玉県・オハイオ州スカラシップ 機械工学系**
 - 1) ニッポン・ブレイキ・オハイオからフィンドレー大学に寄附
 - 2) 11 月 20 日頃
 - 3) 2 名
 - 4) 2 万ドル（授業料、住居費等）
- **埼玉県・オハイオ州スカラシップ 総合系**
 - 1) 埼玉県
 - 2) 10 月初旬頃
 - 3) 1 名
 - 4) 授業料
- **「埼玉発世界行き」学位取得コース**
 - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
 - 2) 4 月下旬～6 月上旬
 - 3) 15 名以内
 - 4) ①年間世帯所得が 600 万円未満の方、年間 100 万円以内 ②同 600 万円以上 800 万円未満の方、年間 75 万円以内 ③同 800 万円以上の方、年間 50 万円以内
- **「埼玉発世界行き」協定・認定留学コース**
 - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
 - 2) 4 月下旬～6 月上旬
 - 3) 200 名以内
 - 4) 20 万円以内
- **「埼玉発世界行き」高校生留学コース**
 - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
 - 2) 4 月下旬～6 月上旬
 - 3) 50 名程度
 - 4) ①保護者の所得が 600 万円未満の場合：留学期間 179 日以下 30 万円、留学期間 180 日以上 60 万円 ②保護者の所得が 600 万円以上 800 万円未満の場合：留学期間 179 日以下 23 万円、留学期間 180 日以上 45 万円 ③保護者の所得が 800 万円以上の場合：留学期間 179 日以下 15 万円、留学期間 180 日以上 30 万円
- **戸田市海外留学奨学金制度**
 - 1) 埼玉県戸田市
 - 2) 第 1 回：7 月初旬頃
 - 3) 若干名
 - 4) 授業料及び生活費、渡航費（限度額あり）

- **（公財）長岡市米百俵財団 海外高校留学生奨学金**
 - 1) （公財）長岡市米百俵財団
 - 2) 8 月初旬頃
 - 3) 3 名
 - 4) AFS または YFU のプログラム参加費
- **（公財）新潟市国際交流協会 新潟市高校生留学支援事業**
 - 1) （公財）新潟市国際交流協会
 - 2) A 日程：6 月初旬頃、B 日程：7 月初旬頃
 - 3) 3 名
 - 4) AFS プログラム参加費の半額
- **松本・土井アイリン海外留学助成金**
 - 1) 宝塚市
 - 2) 第二回：2014 年 12 月 12 日頃
 - 3) 第三回：2015 年 2 月 13 日頃
 - 4) 未定
 - 5) 留学 1 回につき 60 万円

- **三重県私費海外留学生奨学金**
 - 1) 三重県
 - 2) 3 月上旬～4 月中旬
 - 3) 10 名以内
 - 4) 年間授業料相当額
- **瑞穂町海外留学奨学金等支給制度**
 - 1) 瑞穂町教育振興基金
 - 2) 毎年 6 月 1 日～6 月 30 日（第 1 期）
 - 3) 毎年 1 月 4 日～1 月 31 日（第 2 期）
 - 4) 若干名
 - 5) 奨学金（留学先学校の授業料またはこれに準ずると認められる費用）、渡航費（限度額あり）
- **山梨県アイオワ州短期派遣留学生**
 - 1) アイオワ州姉妹州委員会または留学先
 - 2) 4 月中旬頃
 - 3) 1 名
 - 4) 12 単位の授業料など
- **山梨県派遣留学生**
 - 1) 忠清北道
 - 2) 1 月上旬頃
 - 3) 1 名
 - 4) 支度料、滞在費、国内旅費、語学研修費、宿舎管理費、厚生費など

- **四日市市科学教育奨学金**
 - 1) 四日市市教育委員会
 - 2) 5 月～7 月頃
 - 3) 毎年 1 人
 - 4) 月額 10 万円
- **淀江町青少年ゆめ基金活用事業補助金**
 - 1) 淀江町青少年ゆめ基金活用委員会
 - 2) 未定
 - 3) 未定
 - 4) 授業料、渡航費を 200 万円まで

民間団体奨学金

- **IRENA Scholarship Programme**
 - 1) 国際再生可能エネルギー機関（IRENA）
 - 2) 5 月末頃
 - 3) 最大 20 名
 - 4) 授業料、教材費、ノートパソコン、医療保険、住居費、旅費、一部生活費など
- **（公財）アステラス病態代謝研究会 海外留学補助金**
 - 1) （公財）アステラス病態代謝研究会
 - 2) 4 月～6 月上旬
 - 3) 10 名程度
 - 4) 1 名あたり 200 万円
- **（公財）飯塚教育英会 海外留学支援奨学金**
 - 1) （公財）飯塚教育英会
 - 2) 6 月中旬～7 月中旬
 - 3) 15 名程度
 - 4) 大学生：年額 40 万円 大学院修士課程：年額 60 万円 大学院博士課程：年額 80 万円
- **（公財）飯塚教育英会 海外留学支援奨学金**
 - 1) （公財）飯塚教育英会
 - 2) 6 月中旬～7 月中旬
 - 3) 15 名程度
 - 4) 大学生：年額 40 万円 大学院修士課程：年額 60 万円 大学院博士課程：年額 80 万円
- **石橋財団奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）**
 - 1) （公財）石橋財団
 - 2) 6 月中
 - 3) 5 名
 - 4) 月額 15 万円
- **（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金**
 - 1) （公財）伊藤国際教育交流財団
 - 2) 6 月下旬～8 月下旬
 - 3) 13 名程度
 - 4) プログラム A：生活費月額 US2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費 プログラム B：生活費月額 US1500 ～2000 ドル相当の円貨、学費、往復旅費

- **イリノイ大学日本同窓会 小山八郎記念奨学金制度**
 - 1) イリノイ大学日本同窓会
 - 2) 5 月～10 月頃
 - 3) 4 名
 - 4) 年間授業料
- **オリエント財団奨学金**
 - 1) Fundacao Oriente
 - 2) 毎年 1 月
 - 3) 若干名
 - 4) 学費、渡航費など

- **Kiyo Sakaguchi 奨学金**
 - 1) ブルアンシャル生命保険株式会社
 - 2) 6 月～9 月
 - 3) 1、2 名
 - 4) 授業料年間最大 300 万円、最長 4 年
- **（公財）グループ・バンクプロト基金 奨学金制度**
 - 1) （公財）グループ・バンクプロト基金
 - 2) 9 月中旬頃
 - 3) 3～5 名
 - 4) ①毎年 200 万円を 4 年間支給。ただし留学先より授業料（全額）を免除される場合は、生活費として 100 万円を 4 年間支給（3 名） ②毎年 100 万円を 4 年間支給（2 名）
- **群馬県大学生海外留学奨学金**
 - 1) （公財）ぐんま国際教育財団
 - 2) 2 月下旬～4 月下旬（予定）
 - 3) 一般留学：3 名 研修留学：5 名
 - 4) 一般留学：60 万円 研修留学：30 万円

- **公益信託グラソ・スミスライン国際奨学金基金**
 - 1) グラソ・スミスライン株式会社
 - 2) 4 月上旬～5 月中旬
 - 3) 3 名以内
 - 4) 年額 360 万円を 2 年間支給
- **皇太子明仁親王奨学金**
 - 1) 皇太子明仁親王奨学金財団およびハイウェイ大学財団
 - 2) 11 月 17 日～28 日必着
 - 3) 1 名
 - 4) ハイウェイ大学の学費、生活費等として年間 2 万 5 千ドル、渡航旅費（上限あり）

- **国際ロータリー グローバル補助金奨学金**
 - 1) 国際ロータリーのロータリー財団
 - 2) 随時募集
 - 3) 未定
 - 4) 随時募集
 - 5) 各地区ロータリー財団委員会事務局
- **国際ロータリー 新地区補助金奨学金**
 - 1) 国際ロータリーの各地区のロータリー財団
 - 2) 各地区により異なる
 - 3) 各地区により異なる
 - 4) 各地区により異なる
 - 5) 各地区ロータリー財団委員会事務局
- **佐藤陽国際奨学金財団 海外派遣留学生奨学金制度**
 - 1) （公財）佐藤陽国際奨学金財団
 - 2) 未定
 - 3) 未定
 - 4) 奨学金月額 8 万円、渡航費 25 万円、交換留学一時金 10 万円

- **CWAJ 海外留学大学院女子奨学金（SA）**
 - 1) College Women's Association of Japan
 - 2) 11 月 4 日（消印有効）
 - 3) 1 名
 - 4) 300 万円
- **静岡県国際交流協会 ネブラスカ州立大学オマハ校 牧野スカラシップ**
 - 1) （公財）静岡県国際交流協会
 - 2) 5 月中旬頃
 - 3) 1 名
 - 4) 正規授業料減免（通常の約 3 分の 1 を最長 5 年間、渡航費一部負担）

- **私費訪中留学生奨学金**
 - 1) （公財）東華教育文化交流財団
 - 2) 毎年 6 月
 - 3) 未定
 - 4) 月額 3 万円を 1 年間
- **秀桜基金留学賞**
 - 1) 秀桜基金
 - 2) 9 月～10 月末
 - 3) 3 名
 - 4) 300 万円
- **高橋&ハワット記念奨学金**
 - 1) NPO 日本スコットランド協会
 - 2) 3 月～4 月
 - 3) 2 名
 - 4) 30 万円

- **ガスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業**
 - 1) （公財）ガスキン愛の輪基金
 - 2) ～11 月 15 日
 - 3) 計 8 名程度
 - 4) 上限 4 万 US ドル（渡航費・研修委託費・日常生活費等）
- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
 - 1) （公財）中島記念国際交流財団
 - 2) 8 月中
 - 3) 10 名程度
 - 4) 奨学金：月額 20 万円、渡航費：往復支給、支度金：20 万円、授業料：留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給

- **（公財）中富健康科学振興財団 留学助成金**
 - 1) 久光製薬株式会社
 - 2) 7 月～9 月
 - 3) 未定
 - 4) 留学助成金 1 名あたり 50 万円程度、渡航費など
- **日本/世界銀行 共同大学院奨学金制度**
 - 1) 世界銀行本部
 - 2) 4 月中旬頃
 - 3) 10 名程度
 - 4) 学費、生活費、渡航費、医療保険など
- **馬場財団国際理解教育人材養成奨学金**
 - 1) （公財）日本国際教育支援協会
 - 2) 1 月下旬頃
 - 3) 7 名程度
 - 4) 渡航費（成田・関西から留学先主要都市までの往復相当）、奨学金（月額 10 万円×留学期数 [3 ヶ月以上 12 ヶ月以内]）

- **Funai Overseas Scholarship**
 - 1) （公財）船井情報科学振興財団
 - 2) 6 月～10 月中旬
 - 3) 10 名程度
 - 4) 授業料全額、医療保険全額、生活費月額 2500 ドル、支度金 50 万、渡航費
- **（公財）平和中島財団 日本人留学生奨学生（中島健吉記念奨学金）**
 - 1) （公財）平和中島財団
 - 2) 9 月～10 月末
 - 3) 15 名
 - 4) 学部生：月額 15 万円、渡航費

- **（公財）松下山幸之助記念財団 松下山幸之助国際スカラシップ**
 - 1) （公財）松下山幸之助記念財団
 - 2) 6 月に HP に掲載
 - 3) 最大 10 名
 - 4) 月額 13 ～15 万円を 1 年または 2 年分、渡航費
- **（公財）明治安田クオリティオプライフ文化財団「海外音楽研修生費用助成」制度**
 - 1) （公財）明治安田クオリティオプライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬頃
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1) （公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) ～11 月 17 日（消印有効）
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費

- **ヴァニエ・カナダ大学院奨学金**
 - 1) カナダ社会・人文科学研究会、カナダ自然科学・工学研究会議、カナダ保健研究機構の 3 つの連邦給付機関
 - 2) 9 月～10 月
 - 3) 最大 500 名
 - 4) 年間 5 万カナダドル（最長 3 年）
- **ヴァニエ・カナダ大学院奨学金**
 - 1) カナダ社会・人文科学研究会、カナダ自然科学・工学研究会議、カナダ保健研究機構の 3 つの連邦給付機関
 - 2) 9 月～10 月
 - 3) 最大 500 名
 - 4) 年間 5 万カナダドル（最長 3 年）

- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー大学院奨学金**
 - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
 - 2) 4 月～6 月末
 - 3) 未定
 - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料などを最長 4 年
- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー専門技術奨学金**
 - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
 - 2) 4 月～6 月末
 - 3) 未定
 - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料などを最長 2 年

- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー研究フェローシップ**
 - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
 - 2) 4 月～6 月末
 - 3) 未定
 - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料などを最長 2 年
- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー研究フェローシップ**
 - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
 - 2) 4 月～6 月末
 - 3) 未定
 - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料などを最長 2 年

- **高門宮記念クィーンズ大学奨学金**
 - 1) クィーンズ大学、在日カナダ大使館
 - 2) 3 月下旬頃
 - 3) 未定
 - 4) 2 万 5000 カナダドル
- **Dr Goh Keng Swee Scholarship**
 - 1) Association of Banks in Singapore (ABS)
 - 2) 2 月 23 日（必着）
 - 3) 3～4 名
 - 4) 学費および必要経費、渡航費（往復）、生活扶助（年間 6500 シンガポールドル）、寮費、準備金（200 シンガポールドル）
- **バンティング博士研究員奨励金**
 - 1) カナダ保健研究機構、カナダ自然科学・工学研究機構、カナダ社会・人文科学研究機構の 3 つの連邦研究助成機関
 - 2) 7 月～10 月中旬
 - 3) 各年 70 名
 - 4) 年間 7 万カナダドルを 2 年間

- **大学院留学（学術系学位）プログラム**
 - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
 - 2) 4 月～5 月
 - 3) 約 20 名（「大学院博士論文研究プログラム」を含む）
 - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を原則 12 ヶ月
- **大学院留学（専門職学位）プログラム**
 - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
 - 2) 4 月～5 月
 - 3) 約 5 名
 - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を 1 年間

- **大学院博士論文研究プログラム**
 - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
 - 2) 4 月～5 月
 - 3) 約 20 名（「大学院留学学術系学位プログラム」を含む）
 - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を 6～10 ヶ月
- **研究員プログラム**
 - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
 - 2) 4 月～5 月
 - 3) 約 10 名
 - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を 3～9 ヶ月
- **ジャーナリストプログラム**
 - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
 - 2) 4 月～5 月
 - 3) 若干名
 - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当て。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を 3～9 ヶ月

- **（公財）松下山幸之助記念財団 松下山幸之助国際スカラシップ**
 - 1) （公財）松下山幸之助記念財団
 - 2) 6 月に HP に掲載
 - 3) 最大 10 名
 - 4) 月額 13 ～15 万円を 1 年または 2 年分、渡航費
- **（公財）明治安田クオリティオプライフ文化財団「海外音楽研修生費用助成」制度**
 - 1) （公財）明治安田クオリティオプライフ文化財団
 - 2) 4 月上旬頃
 - 3) 4 名程度
 - 4) 年額 200 万円（原則 2 年間）
- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
 - 1) （公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - 2) ～11 月 17 日（消印有効）
 - 3) 若干名
 - 4) 月額 10 万円（最長 2 年間）

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
 - 1) （公財）吉田育英会
 - 2) 9 月下旬頃
 - 3) 5 名程度
 - 4) 生活滞在費：月額 20 万円、学校納付金：合計 250 万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費

2014 年 10 月 20 日現在の情報です。応募の際は、必ずお問い合わせください。

IELTS Hot News

アカデミック・ライティングを学べる e-learning 講座が団体だけでなく、個人にも受講機会が広がることに。また、年々受験者数が拡大している IELTS テストは英語教員を対象に受験料の助成制度が設置された。

個人の受講もスタート 「留学ライティング」

ネイティブ講師による きめ細かいエッセイ添削

日本英語検定協会が2012年度から団体・学校を対象に提供している e-learning 講座「留学ライティング」が、個人でも受講できるようになった。

「留学ライティング」は、「留学先で通用するライティング力を身につけたいが、効率的な学習方法が分からない」「自分が書いたエッセイをプロの添削者に見てほしい」といった学習者のニーズに応えるべく開発された e-learning 講座だ。

基礎から応用までを 3ヵ月でマスター

海外の大学・大学院での課題提出の多くは、レポートやエッセイなどを通じて行われる。また、ゼミなどで発表用のレジュメを作る場面も多い。このような、大学で求められる学術的な文章を書くことを「アカデミック・ライティング」というが、英語でのアカデミック・ライティングは留学生活においてもっとも重要なスキルと言っても過言ではない。しかしながら、これまでの日本の英語教育では、アカデミック・ライティングはおろか、通常の英作文も体系

「留学ライティング」講座

学習期間	3ヵ月（1週間で1Unitを学習）
標準学習時間	1Unitにつき約1時間（添削課題を含まず）
受講料	26,000円（税込）
受講レベル（目安）	英検準1級、1級、IELTS5.0以上の方
お問合せ	公益財団法人 日本英語検定協会 教育事業部 通信教育課 TEL 03-3266-6521
URL	http://www.eiken.or.jp/learning/personal/topics/ryugaku_writing/

カリキュラム

※講座の解説、並びに添削は全て英語での表記になります。

Unit 1	Overview	本講座で学ぶこと／留学ライティングの特徴
Unit 2	The Paragraph	段落の書き方
Unit 3	Organizational Structure	エッセイの構成
Unit 4	Methods to Avoid Plagiarism	盗作を避けるために（言い換え、引用、出典）
Unit 5	The Descriptive Essay	グラフや表を分析し説明する
Unit 6	The Process Essay	順序（過程）やサイクルを説明する
Unit 7	The Argumentative Essay	自分の意見の正当性を証明する
Unit 8	The Comparative Essay	2つ以上の事柄を比較する
Unit 9	The Cause and Effect Essay	物事の原因と結果について述べる
Unit10	The Problem and Solution Essay	問題とその解決策について述べる
Unit11	Review	講座のまとめ

立てた教育がなされてこなかったのが実情だ。

「留学ライティング」は、効果的な英文エッセイを書くために必要な理論を学習し、さらにネイティブ講師による添削指導によって、短期間でのアカデミック・ライティング力向上を目指す。英語でアカデミックエッセイを書くために必要な基礎から応用までのスキルを3ヵ月で習得できるのが魅力だ。全10回の添削

課題があり、熟練したネイティブ添削者によるフィードバックを受けることができる。きめ細かい添削指導により、自分の弱点を知り、ライティング力を強化することが可能だ。

これまで団体・学校単位での受講を対象としていたが、今年度から個人でも受講できるようになった。留学を目指す多くの方に、ぜひ活用していただきたい。

英語担当教員を対象に IELTS 助成制度が発足

グローバル化を見据え 助成制度を拡大

日本英語検定協会は、「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」を受けた文部科学省の取り組みの支援の一環として、英語担当教員を対象に「実用英語技能検定」を教員特別検定料で提供している。そして今回、「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」の具体的な一助となるべく、英語教員が受験するのにもっとも適切と考え

る IELTS テストも、新たに助成制度に加える準備が整った。

留学指導にも生かせる 教員の IELTS 受験

IELTS の日本国内での受験者数は2010年度から4年間で3.5倍に急増し、世界の総受験者は220万人を突破している。筆記と面接で4技能を測定し、その実力を世界基準で証明することができるのだ。テスト対策のための学習が、そのまま先生のスキルアップにもつながる。

また、IELTS は海外の多くの教育機関でも留学要件として認定されているため、留学で求められる英語のレベルを体感し、学習指導にも生かすことができる。

テストは全国15都市で年間最大48回開催。20名以上の受験者がそろえば、学校を会場に団体受験の実施も可能だ。インター

ネット受験ではなく、ペーパーテストと対面の試験で英語力を測定するのにも IELTS が受験しやすい理由のひとつだろう。

中学、高等学校などの英語担当教員を対象に実施する IELTS 受験料の助成制度を、モチベーションの維持や英語力の向上につなげてほしい。

IELS 受験料 助成制度

教員特別検定料	20,000円（税込）
対象	中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校に勤務する英語担当教員の方
該当試験日	平成29年3月31日実施分まで
お問合せ	東京・横浜・埼玉・松本・札幌・仙台会場 TEL 03-3266-6852 jp500ielts@eiken.or.jp 大阪・名古屋・神戸・京都・広島・岡山・福岡・金沢・高知会場 TEL 06-6455-6286 jp512ielts@eiken.or.jp
URL	http://www.eiken.or.jp/ielts/group/teacher/



IELTS™

And one easy way to test it.
Study in the USA:

takeIELTS.org

IELTS is now accepted by more than 9,000 organisations in 135 countries around the world – including over 3,000 institutions in the USA.

BRITISH COUNCIL

英検 公益財団法人
日本英語検定協会

IELTS is jointly owned by British Council, IDP: IELTS Australia and Cambridge English Language Assessment



ブリティッシュ・
カウンシルの
講師に聞く

IELTS テストのコツ

by David Parry

難易度の高いライティング・セクションのTask 2。
今回は、解答を導き出すまでの思考プロセスや、
導入文の書き方のノウハウについて教えていただく。

問われていることは何か？

IELTS アカデミック・モジュールのライティング・セクション TASK 2 は、与えられた課題に沿って、40 分間で 250 ワード以上の文章を書く問題です。限られた時間のなかで、適切な語彙を用い、正確な文法に従いつつ、自分の考えを明晰に論理的にまとめなければなりません。受験者にとっては難易度の高い問題だといえるでしょう。最も注意しなければならないことは、次の3つです。

- 1) 課題文で与えられたタスクをきちんと理解すること。
- 2) 書き始める前に言うべきことを決めること。
- 3) しっかりした導入をつくること。導入が固まれば、本文と結論をつくるのが容易になる。

ここでは、課題文を分析し、書き始める前に自分の考えをまとめる方法、そして導入文の書き方のコツをお教えします。

まずは課題文を読み、何を求められているかを把握しましょう。これにはいくつかパターンがあり、自分の意見を述べその正当性を明らかにする場合、1つの事柄の異なる面について述べる場合、問題に対する解決策を提示する場合、またはこれらを組み合わせたものなどがあります。1つの事柄にだけ集中すればいい場合もあれば、2つ以上の話題に触れなければならないこともあるので、注意してください。

TASK 2 の課題文の例を1つ挙げてみましょう。

Modern airliners have greatly improved opportunities for the individual to visit distant places. Yet passenger aircraft are also responsible for seriously polluting the atmosphere. How can we reduce the environmental impact of the long-distance flights passengers make every year?

〈日本語訳〉

現代の大型旅客機は、個人が遠い場所を訪れる機会を、著しく向上させた。しかし、旅客機は深刻な大気汚染の原因ともなっている。長距離を飛ぶ旅客が毎年環境に与える影響を削減するには、どうすればよいか？

この場合、答えとなる文章では、飛行機による大気汚染を悪化させないためにはどうすればいいか、2、3の解決策を述べるというでしょう。すでに課題文の中で「大気汚染」という言葉が使われているので、大気汚染がどのようなものであるかといったことについて、あえてふれる必要はありません。環境にまつわる語句をたくさん覚えておくと、つい自分が書きやすい方向に走ってしまい、大気汚染についての説明を入れたいかなるかもしれませんが、肝心なテーマからはずれることは避けなければなりません。

語彙力をアピールしよう

まずは、自分が述べたいことをいくつか考え、それに順番を振ることにしましょう。これには数分かかるかもしれませんが、考えながら書き進めることに要する時間を思えば、結局は時間の節約になるのです。最初に言うことを決めてしまえば、実際に書くときは、語彙や文法に集中することもできます。

課題文が提示した問題に対する解決策としては、例えば以下のようなものが考えられます。

- 1) 航空券の料金を上げ、旅客数を減らす
- 2) 人々があまり長距離を飛ぶことなく、近場の国内で休暇を過ごすようにする
- 3) より効率のよいエンジンを開発する

書きたいことが決まったら、次は導入文をどのようなものにするか考えます。自分の言いたいことを簡潔にまとめなくてはなりませんが、ときには、課題文の一部を借りて、問題の概要を示すという方法もあります。例えば、このようになります。

Passenger jets have indeed revolutionised our lives and given us exciting new chances to travel and meet new people all over the world. However, this has resulted in major damage to the environment. We therefore need to reduce the number of international flights by raising ticket prices, encouraging people to take more domestic holidays, and by developing greener aircraft.

〈日本語訳〉

旅客機は実に、私たちの生活を急激に変え、世界中

を旅行して新しい人々に会うという、新しい刺激的な機会をもたらしてくれた。しかし、このため環境が大きな被害をこうむっている。そこで、国際線の便数を減らすために、航空券の料金を上げる、より国内で休暇を過ごすようにする、より環境にやさしい飛行機を開発する、といったことが必要とされている。

課題文には improved opportunities (機会を向上させた) とありますが、解答文では exciting new chances (新しい刺激的な機会) としています。また、responsible for seriously polluting the atmosphere (深刻な大気汚染の原因となっている) は、resulted in major damage to the environment (環境が大きな被害をこうむっている) と言い換えています。課題文にある言葉をそのまま使うのではなく、別の言葉で言い換えることによって、豊富な語彙があることを示しましょう。

結論には新しい視点を加えない

この導入文では次に、自分が述べたいことを簡潔に3つ挙げています。続く本文では、これら1つひとつについてそれぞれを段落に分け、具体的に例を挙げながら説明するといでしょう。最初に書くべき内容を組み立てておけば、書いている途中で次に何を書けばいいかわからず詰まってしまうということがなくなります。

結論は、あくまでこれまで述べたことのまとめであり、ここで新しい視点を加えることは避けるようにしましょう。長い文章を書いていると、最後にふと思いついたことをつけ加えたいくなってしまいがちですが、それはいい考えとは言えません。ときに、結論に自分の個人的な感想を交えることもあるかもしれませんが、基本的には、結論とはこれまで述べてきたことの繰り返しです。上記の導入で始めた場合、結論でまた3つのポイントについてふれることになるかもしれませんが、その際も、前と同じ語句を使うのではなく、別の言葉で言い換えるようにしてください。

ここに述べたような文章構成力を養うのは、短期間でできることではありません。たくさんの例題をこなし、これらのステップを着実に積み上げていくことで、次第に自分の文章に自信が持てるようになるでしょう。

IELTS™



IELTS.
The international
license.

IELTSという名の 国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ) は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで
www.eiken.or.jp/ielts

IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!
www.britishcouncil.or.jp

f 勉強法や留学した人の体験談がわかる
<http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan>

英検 公益財団法人
日本英語検定協会

BRITISH
COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、
ブリティッシュ・カウンシルと日本での
IELTSを共同運営しています

IELTS 対策コースナビ

Vol. 6

SI-UK ~リーディング編~

すばやく読み取るための
テクニックを身につける

留学準備をサポートする多くの機関やスクールが、IELTS 対策に的を絞ったコースを開講している。今回からは、世界各国に8つのオフスをもち、90カ国以上の学生や社会人を英国留学へと導くSI-UKに、IELTS 対策コースについて聞いてみよう。

大学・大学院レベルの
読解力が求められる

IELTS のリーディングテストは、自然科学や経済、社会問題などに関する長文を読み、空欄を埋めたり、Yes/No の質問に答えたりするものだ。単に多くの単語を知っていたり個々の文の意味を理解するだけでなく、文章の大意を把握し、書き手の意図を正確に読み取る力が求められる。海外の大学・大学院レベルの学生に匹敵する読解力が必要とあって、自己流で学ぶだけでなく、系統立った読解のスキルを身につけておきたいところだ。

イギリスの大学・大学院への留学サポートを専門に扱うSI-UK ではIELTS 対策講座を開講し、英語教授法の資格を持つネイティブスピーカーの講師とともに、リスニング、スピー

キング、リーディング、ライティングの4技能をバランスよく学ぶ。さらに、各セクションで高スコアを挙げるための、効率的な学習法を指導してくれるのである。今回はSI-UK 語学センター長の鈴木ポーラさんに、リーディングセクションの攻略法について伺った。

訓練で読みこなす
1 分間に 300 ワード

リーディング・セクションでは3つの文章を読み、1 時間以内に 40 の問いに答えるが、「1 時間という時間は、日本の学習者にとってはとても短いはず。3時間かけてじっくり解けばできるかもしれませんが、まずは短時間で必要な情報を的確に読み取る力を養うことが必要です」とポーラさん。

問題の文章は論文や本、新聞記事、雑誌な

どから取られたもので、「昆虫の生態」「喫煙の危険性」「自動車産業」など内容は多岐にわたり、ときには図表が使われていることもある。「本文を読む前に質問に目を通し、どんな情報を読み取らなければならないのか見極めてください。文章に見出しや写真がついていれば、そこから内容を推測することもできます。実際に文章を読むときは、1 語ずつじっくり読むのではなく、文章全体にざっと目を通す"スキミング"というテクニックを使ってキーワードを拾い、時間を節約してください。だいたいということが書かれているか把握できたら、再び質問を読み、本文の中から答えに該当する部分を探すのです。」

正しい回答を得るためのコツは質問の形式によって異なり、例えば選択式の問題では「同義語」を探すことが大事。本文の中に"big ..."

と出てきたら、質問の中では"large ..."と置き換えられていたりする。まったく同じことが書かれている部分を探すのではなく、同様の内容を伝えている箇所をすばやく探し当てるのだ。「リーディングの一般的な対策としては、まずは大量の英文に触れることです。新聞、雑誌、ウェブサイトの記事や、ときにはコミックでもいいでしょう。最初は1分間に100ワードくらい読める程度だと思いますが、トレーニングを続ければ、1分間に300ワードは読めるようになります。」

SI-UK ではホームワークで多くの英文を読むことをすすめ、授業ですばやく内容を把握し、答えを見つけるためのコツを教えてください。独学で勉強している人も、一度IELTS 受験のための効率的な学習法について見直してみてもいいかもしれません。

IELTS に対応するコース

フルタイム IELTS

100 時間で4セクションを効率よく学ぶ。週に1回、講師と1対1で現状を確認するチュートリアルも実施する。

レベル別 IELTS グループレッスン

入門・初・中・上級の4つのレベル別コースに分かれて4セクションを学ぶ。全コースが少人数制で行われる。

IELTS/Academic Writing グループレッスン

語彙力、文法力を身につけ、アカデミックな文構造やさまざまなタイプのエッセイの構成を集中的に学ぶ。

IELTS Speaking 直前対策セミナー

東京会場の試験日程に合わせて、翌日のスピーキングテストのために、土曜日の夜に開講する直前対策レッスン。

短期集中特別コース

GW や夏休みなどの連休に開講される短期コース。IELTS のレベル別コースのほかにもさまざまなコースを設定。

IELTS/Academic Writing 通信制コース

講師と Email でやりとりをしながら、Task 1、Task 2 の、アカデミックライティングスキルの向上を目指す。

プライベートレッスン

グループレッスンを受講後、自分の弱点に特化して集中して学ぶなら、プライベートレッスンがおすすめ。

SI-UK <http://www.ukeducation.jp/>

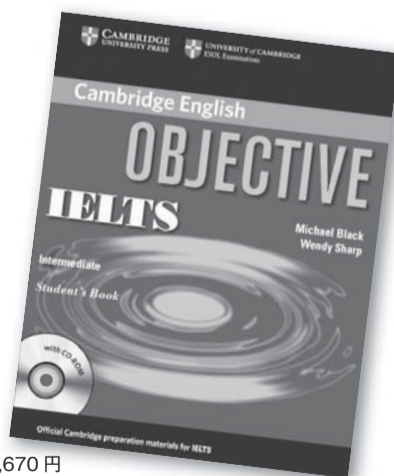
Book IELTS 攻略本

Objective IELTS Intermediate & Advanced

受験者の解答を分析

ジェネラル、アカデミック両モジュールを総合的に学習する2レベルのIELTS 対策コースブック。バンド5.5~7を目指す学習者に最適。実際のIELTS 受験者の解答を分析したCambridge Learner Corpusを基に、学習者が重点を置くべき言語・スキルを学びます。Self Study Student's Book with CD-ROM と Audio CD で自学自習も可能です。

Student's Book with CD ROM 本体価格 4,530 円
Self Study Student's Book with CD-ROM 本体価格 4,670 円
Audio CDs (3) 本体価格 5,870 円

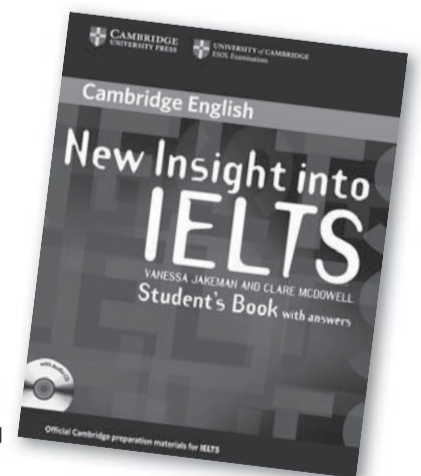


New Insight into IELTS

試験の傾向をつかもう

現在のIELTS レベルがバンド6相当の学習者を対象にしたジェネラル、アカデミック両モジュールを扱ったテキスト。IELTS 受験の総合対策に最適です。試験内容や傾向を知り、自信を持って受験できるよう、受験テクニックだけでなく言語スキルを習得することができます。クラス用、自学自習用どちらでも使うことができます。

Student's Book with Answers 本体価格 3,300 円
Student's Book Audio CD 本体価格 2,800 円
Student's Book Pack 本体価格 4,200 円

上手な
活用法

幅広いトピックを扱った20のショートユニットから構成。各10ページ収録されている' Test folders' と' Writing folders' は試験内容をカバーし実践的なアドバイスが満載。ぜひ活用しましょう。

上手な
活用法

どのセクションからでも学習可能。各セクションは試験の概要からスタートします。役立つアドバイスも収録されているので、試験の形式・傾向にしっかりと慣れましょう。

Vol. 13 エディンバラ大学 高橋ひかるさん

留学で培う3つの力

英国での経験を将来につなげたい

2013年9月から2014年5月末まで、英国エディンバラ大学で交換留学生として勉強しました。母校、津田塾大学では言語学を専攻していますが、英国ではおもに心理学を専攻しました。心理学に対する興味は、大学1年生の時に教育課程の一環で学んだ異常心理学から始まりました。その後、副専攻の翻訳学を通じて、ふくしまの子どもたちが書いた

詩を英語に翻訳するというプロジェクトに携わり、翻訳とは単なる言葉の置き換えではなく、それぞれの詩の中で子どもたちが何を想い、何を伝えようとしているのか、「子どもたちのこころ」に触れ、理解するなかで、心理学により深く興味を持ちました。エディンバラでの実りある留学生活を、今後の進路につなげていきたいと思っています。

ちから

1

能動的に学ぶ力

学んだことを実践するおもしろさ

私が履修している教養課程の心理学では、1年間を通じて、認知心理学、心理言語学、異常心理学、社会心理学、発達心理学といったさまざまな角度から「人のこころ」について勉強します。週3回の講義のうち2回が心理学理論、1回が心理統計学となっています。

統計学の講義では理論を、チュートリアルでは講義のおさらい、練習問題を通じて理解を深めた後、実際にSPSSという統計ソフトを使って演習を行います。また、各期に課せられる「プロジェクト」では、あるテーマについて実験を行い、これまで講義やチュートリアルで得た知識を全て生かし、実験データを統計分析してレポートを書きます。

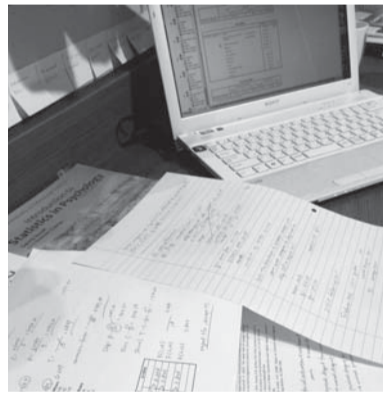
前期の課題では、共感覚（文字に色がついて見えたり、音に臭いを感じたりするなど、ある刺激に対して、本来の感覚機能とは違うものが作用してしまう症状）と不安障害の関係性についてのプロジェクトを行いました。

また、統計学を深く理解することは、プロジェクトのみならず、講義の理解や自主的に論文を読むうえでも非常に役立ちます。講義では、どの分野においても心理実験を基に理論を学びます。スライ

ドに出された仮説や数値、そこから導き出される結論は統計学の知識なくしては理解できません。また心理学の論文は、導入、実験方法、実験結果（統計分析）、議論と展開され、論文を読み進めるには統計学の知識が不可欠となっています。

このようにエディンバラでの学びは、単に講義に参加して一方的に知識を詰め込むのではなく、プロジェクトなどを通して、積極的に学んだことを生かすことに重きが置かれていました。実践の場があるからこそ、より一層、講義内容の理解や自主学習に努めるようにもなりました。今後、心理学の道に進むうえでも大切な姿勢であると思います。

講義で得た知識をプロジェクトで実践。



ちから

3

「引き出し」を増やす挑戦力

経験を積めば選択肢が広がる

津田塾大学の創始者、津田梅子氏が目指した女性像とは、「聡明で公平な判断ができ、責任感に溢れ、能力がある、それ故に家庭では夫から尊敬され、社会から必要とされる女性」でした。つまり彼女曰く、理想の女性とは博学であるとともに家庭的でなくてはなりません。これまで実家で暮らしてきた私にとって、留学生活は人生で初めての一人暮らし。料理、洗濯、掃除など、これまで母に頼ってきたことを

自分でしなければなりません。しかし、せざるを得ない状況に置かれると、案外できてしまうものです。

「育ち」という言葉があります。家庭環境や生活習慣、価値観……、これまでの人生、どのような環境で育ってきたかということです。たくさんのごとに触れ、たくさんのごとを経験すればするほど、「選択肢」が広がります。料理を例にすると、私はこれまで家ではあまり料理をすること

異文化に触れ、多様な価値観に出会える海外留学。

「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」の受賞者は、留学でどんな力を培ったのだろうか。

英国のエディンバラ大学で学んだ高橋ひかるさんに留学で身につけた3つの力について伺った。

ちから

2

思い立ったら即行動する力

アルバイト先での貴重な出会い

一度決めたことは最後まであきらめずに取り組む、これこそが私のモットー。それは日本でも英国でも変わりませんが、こちらではより積極的になった気がします。

エディンバラへの留学は無論、勉強のためですが、机に向かうことだけが勉強だとは思いません。ときには外に出て人と触れ合うほうが、得られるものが多いこともあるはず。

前期は「Society」と呼ばれるサークル活動でバレーボールをしていましたが、徐々に足が遠のいていました。後期に入って生活が慣れてきたこともあり、週末の夕方にアルバイトを始めました。それは、オーストラリア人とアゼルバイジャン人と一緒に生活をしているのですが、彼らは院生ということもあり、私と生活リズムが合わず、フラットではあまり一緒に時間を過ごすことがありません。せっかく留学しているのだから、もっと英語を話す環境をつくりたい、現地の人々の中に入っていきたいと思ったのです。

選んだバイト先は、老舗ホテルでの配膳経験を生かして、日本食レスト

ラン（日本人スタッフは私を含め3人だけ）でした。エディンバラで一番の高級店ということもあり、来店されるお客様の英語は、街で耳にする英語とは全く違うハイクラスの英語。そのような方たちと接することは、英語が上達するだけでなく見識も広がります。

また、思いがけない出会いもあります。先日お会いしたのは、青少年のカウンセリングを専門とするご夫婦。私の翻訳プロジェクトの経験や心理学への関心をお話したところ、後日ご自宅へ招いてくださり、有意義な時間を過ごすことができました。

もちろんアルバイトですから給料は出ますが、ここではお金以上の経験をしていると感じます。英語に浸れる環境や人との出会いなど、学校だけでは得られない貴重な経験を積んでいます。



学校やバイトのほかに、友人と過ごすのかけがえのない時間。



自慢の手料理で友人たちをおもてなし。

に、一度決意したら最後までやり通そう。そんな思いでこれまで

がありませんでしたが、いつも母の料理に興味を持ち、見ていました。だからこそ、母の要領で何事にも挑戦し、今では料理が趣味となり、時々友人を招いて自分の料理の腕を披露しています。

さまざまな経験からたくさんの「引き出し」を持つことは、同時に、留学生活の成果でもあります。留学中には、勉強、交友関係、アルバイトを含め、あらゆることに果敢に挑戦してきました。一度きりしかない人生だからこそ、後悔しないよう

で生活してきました。思い起こせば、楽しいことがある反面、辛いこともありました。しかし今となっては全ていい経験。エディンバラでの留学生活から、私はたくさんのことを得ました。心理学に対するさらなる興味、行動力、家族や友人の大切さ……、多くの「引き出し」を持った今、それらをどのように今後の進路に結びつけるかが私の課題です。さらなる人生のステップアップを目指して、留学経験を有意義に生かしたいと思っています。

ICUにおける英語教育

ーグローバル人材を育てる教授法と学生の体験ー

2014.11.29 sat 13:00-19:00

国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス

シンポジウム：13:00-17:00 国際会議室

情報交換会：17:15-19:00 大学食堂



「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業(GGJ)」における本学の3つの取組のうち、2つの取組「英語運用能力のさらなる伸長」、「情報発信能力(ライティング)の涵養にフォーカスし、本学の英語教育における人材育成の考え方と教授手法を共有します。シンポジウム前半では、開学時に開始され、時代に合わせて発展を続ける英語教育プログラム※の教育内容と、同プログラムを修了した学生が、専修分野における英語論文を作成するときの手法を教授する「W(ダブル)コース」について、具体的に紹介します。 ※現在は「リベラルアーツ英語プログラム: ELA」

対象 GGI採択校関係者の他、高等教育・中等教育関係者、企業の人材育成担当者等。
言語 日本語
参加費 無料 (情報交換会への参加は有料)

詳細・申込

お申し込みは10月上旬より開始予定です。
詳細は本学グローバル人材育成プロジェクトウェブサイトにてご確認ください。
<https://web.icu.ac.jp/global/>



東海地区 留学フェア2014

11/22(土) 11:00~17:30

会場：名古屋大学豊田講堂

対象：中高生・大学生・社会人

名古屋大学に、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・イタリアの大使館・公的機関の教育・留学の担当者がやってきます！

参加無料!!

留学フェアでできること

1. 各国の担当者に直接、個別に留学相談ができる！
2. 各国の留学セミナーに参加できる！
3. 留学に必要なIELTS / 英検 / TOEFL®テストなどの英語試験や奨学金の情報を入手できる！

■ その他参加団体 ■ 国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部、日本学生支援機構(JASSO)

■ 資料参加 ■ Campus Franceーフランス政府留学局・日本支局、駐日欧州連合代表部

